

シーリングニュース

32

1988/1.25 新春号

- ・開口部シーリング防火研究委員会報告
- ・21世紀に向けての初夢

日本シーリング工業会

「地球って複雑だから困る」

地球の上に建っているすべての建築物は、厳しい自然現象にさらされています。そして、ますます複雑化・高層化する現代建築は、工法そのものも日を追って進歩しています。そこで、カーテンウォール工法、あるいはガラス・サスペンション工法、ストラクチャル・グレージング工法などの建築工法に欠くことのできないのがシリコン・シーリング材・コーティング材です。

トーレ・シリコン建築・土木用シーリング材・コーティング材は、建築物のファッション化に役立つことはもちろん、その優れた接着力と耐久性がパネルの伸縮目地やガラスまわりのグレージングに注目をあつめ、耐天候・耐気温・耐地震で、明日の建築物に対応いたします。



信頼と実績でお客様のニーズに応えるトーレ・シリコンの建築・土木用シーリング材・コーティング材

1成分形 一般用 無酸タイプ (㊟)

SH780

1成分形 一般用 酢酸タイプ (㊟)

SH781

1成分形 防カビ・無酸タイプ

SE5010

1成分形 建築・土木用 無酸タイプ

SH790

2成分形 建築・土木用 無酸タイプ (㊟)

SE792

1成分形 高透明・酢酸タイプ

SE777

1成分形 難燃性・無酸タイプ

SE5003

2成分形 難燃タイプ

SH794

1成分形 無酸・マステックタイプ

SE9090

1成分形 プラスチック用

SE555

2成分形 高モジュラス

SE9500

1成分形 中モジュラス

SE786

1成分形 高モジュラス SG工法用

DC795

2成分形 中モジュラス SG工法用

SE796

1成分形 水性タイプコーティング材

SE1980

1成分形 溶剤タイプコーティング材

SE5060

1成分形 溶剤タイプコーティング材

SE5070

2成分形 難燃フォーム

SE1900

1成分形 溶剤タイプトップコート材

SR2405

建築仕上塗材

パーマウォール

シリコン技術で明日のニーズに応える

トーレ・シリコン株式会社

本店・営業本部/東京都中央区日本橋室町2-3-16(三井ビル6号館) 千103 TEL03(246)1641代表

◀シリコンのことならなんでもお気軽にご相談ください▶

大阪営業部TEL06(376)1251代表 北陸営業所TEL0762(23)1585代表
名古屋営業部TEL052(563)3951代表 東関東営業所TEL0436(22)5743代表
九州営業所TEL092(712)6158代表 仙台営業所TEL022(227)9528代表
広島営業所TEL082(249)7811代表 北海道営業所TEL011(231)5281代表

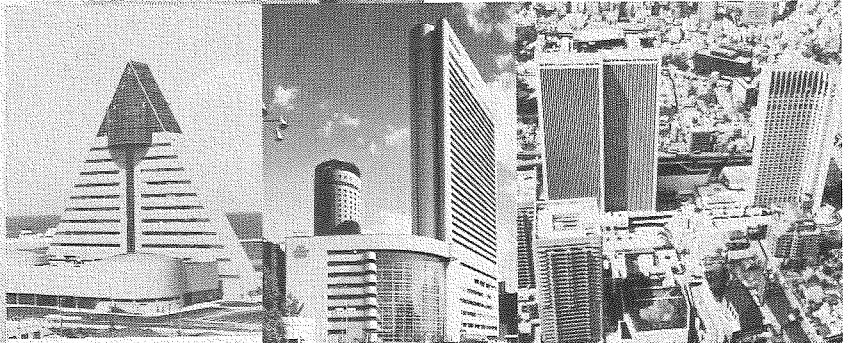
sunstar

動くビル

剛から柔へ——現代の建築構造が剛構造から柔構造（動くビル）へと変わったいま、シーリング材は、建物の柔軟性や設計の自由性を支える重要な部材として、設計段階から慎重に検討されています。

サンスター技研は、シーリング材のリーディングメーカーとして、高度化・多様化する建築業界のニーズに、たゆまぬ研究開発と確かな実績でお応えしています。

●日本を代表する数々の著名建築物で使用実績を誇るサンスター技研のシーリング材。



●青森県観光物産館

●大阪ヒルトンホテル

●六本木アーク森ビル

●耐侯力と対応力に自信あり
サンスターのシーリング材



建築用弾性シーリング材

ベタシール
ペンギンシール

サンスター技研株式会社

本社：大阪府高槻市明田町7番1号 TEL. 0726 (81) 0351
東京支店：東京都港区三田丁3番35号(ナハビル) TEL. 03 (453) 9301
名古屋支店：名古屋市中区栄2丁目4番7号 TEL. 052 (722) 6815
大阪支店：大阪府高槻市川西町1丁目35-8 TEL. 0726 (84) 0600

建築用弾性
シーリング材

セメダイン

ポリシール1

世界が認めた
パーマポール日本
で新登場!!

セメダイン「ポリシール1」は、変成ポリサルファイド系ポリマー（パーマポール®）を主成分とし日本触媒化学工業㈱と共同開発した1成分形建築用シーリング材です。空気中の酸素で硬化する特長を有し、バランスのとれた性能を保持することから、新しい1成分形シーリング材として今後の市場要求に対応する製品です。

特長

- 酸素硬化のため、寒冷地（-5℃）での硬化がOKです。
- 専用プライマー（MP2000）を使用することにより、油性コーキング材の打ち替え用途に最適です（1液タイプであるため、リフォームでは混合機を必要とせず、手軽な作業ができます）。
- シール施工後の仕上塗材に対しては、ウレタン系と同程度の良好な密着性と非汚染性を有します。

用途

- PC、SRC、RC、モルタル、ALCなどコンクリート目地シール。
- 各種サイディング材の内外装目地シール。
- GRCなどのセメント2次製品類の目地シール。
- 石目地、タイル目地シール。
- 建築各種の金属建具まわり、配管まわりシール。
- 折板目地、カラ鉄板シール。
- コンクリート系外壁リフォームの目地打ち替え、クラック補修。



塗料がのる変成
ポリサルファイド

油性コーキング材の打ち替え
補修に最適!



接着剤とシーリング材の総合メーカー
セメダイン株式会社

〒141 東京都品川区東五反田4-5-9

建築土木
事業部

☎(03) 442-1341

大阪支社 〒542 大阪市南区島之内1-15-14 ☎(06) 251-3555

名古屋支店 〒464 名古屋市千種区井上町34 ☎(052) 781-3166

札幌営業所 ☎(011) 261-1471 南関東営業所 ☎(045) 314-9671 広島営業所 ☎(082) 249-0941

仙台営業所 ☎(022) 284-6167 静岡営業所 ☎(0542) 52-3031 福岡営業所 ☎(092) 741-7188

北関東営業所 ☎(0285) 22-1291 全次営業所 ☎(0762) 51-3501

マサル工業

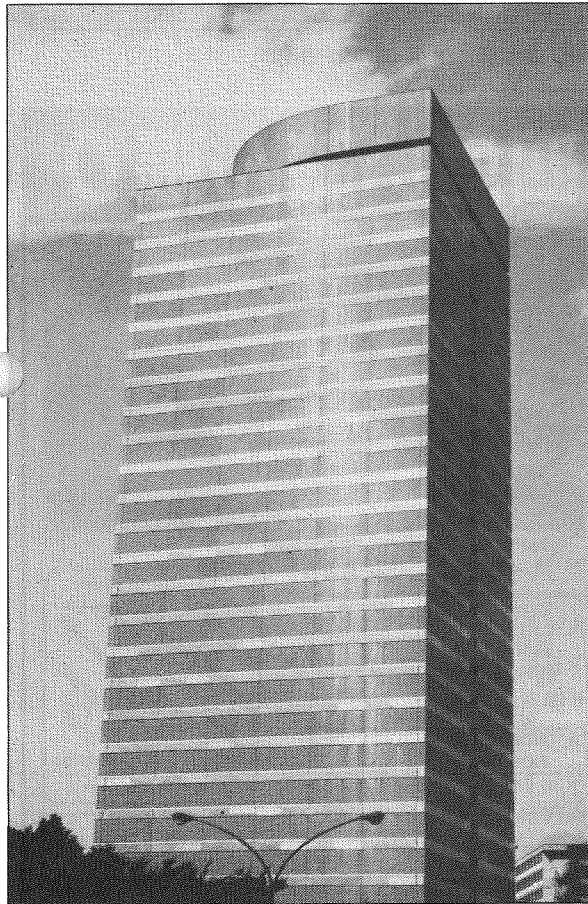
シーリング防水
PCプレハブ住宅防水
屋上防水
外壁化粧防水
各種樹脂注入工事
商業ビル・集合住宅
外装改修工事と総合診断

技術というひかりが 建築物を守る

新築工事、改修・補修工事の防水施工に三十年の実績を持つ、
技術のマサル工業が責任を持ってお手伝い致します。

●新築工事——お客様のニーズに合ったシーリング防水
の納まり・目地設計・材料選定を致しま
す。優れた品質管理下で、良心的な施工
を致します。

●補修・改修工事——実績のある技術陣の調査によって、適切
な診断を致します。適切な施工方法で、
外装全体のシーリング防水・外装化粧防
水・面防水施工をし、建物を老朽化から
守ります。



加入団体

日本シーリング工事業団体連合会
東日本シーリング工事業協同組合
全日本プレハブ建築防水協会
東日本ロンブルーフ防水事業協同組合
フジクラブラスウォール会
コンクリートカーテンウォール工業会
C C R 工 法 研 究 会

コムアスファルト防水工事業協同組合
日本アスファルト防水工業協同組合
外壁補修工事業協同組合
全国アロンコート・アロンウォール
防水工事業協同組合
全日本ウレタン工事業協同組合
常温アスファルト防水工事業協同組合

豊富な実績で新しい防水技術に挑戦する

マサル工業株式会社
〒135 東京都江東区佐賀1-9-14 ☎ 03(643)5911(代)

TOSHIBA

カートリッジタイプコーキング剤の専用機
手動の感覚を電動で。



- あとダレ防止機構付き。
- コーキング剤の装着、取り外しに便利なセットフリーのシリンダ。
- スイッチは操作性の良いビッグ・トリガー式。
- 電 源：AC100V 50-60Hz
- 定 格 電 流：0.5A
- ス ト ロ ー ク：220mm
- カートリッジホルダ容量：330mℓ
- 重 量：1.9kg

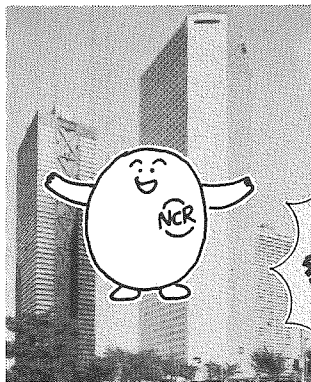
東芝コーキングガン

KG-400A

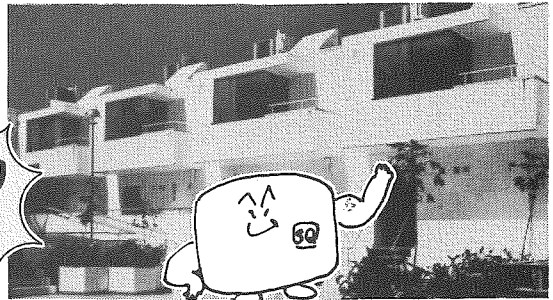
¥ 13,800

株式会社 **芝浦製作所** 本 社 東京都港区赤坂1-1-12(溜池明産ビル) TEL (03)589-3505

ま ぁーるい元気と四角い踏ん張り

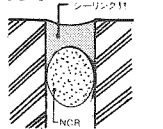


日立化成の
**発泡ポリエチレン
 バックアップ材**



ハイエチレンロッドの特長

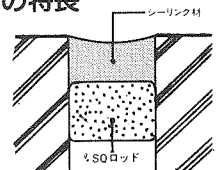
丸棒でおなじみの
 シーリングバックアップ材
 6φ~50φまで種類も豊富。



ハイエチレンSQロッドの特長

SQロッドの愛称で親しまれ、
 低層プレハブ住宅やサッシュ
 廻りに幅広く愛用されています。

記 号	幅(mm)	長さ(m)
NCS 13×10	13 10	180
NCS 18×15	18 15	100



★施工時のシーリング材の深さを均一化。この部分も適正な深さです。シーリング材の寸法管理を正確にします。
 (注) 上記サイズ以外のご注文は別途ご相談ください。

代理店

野口興産株式会社

〒176 東京都練馬区豊玉北2-10
 TEL 03(994)5601

性質・用途	アミノキシ型			酢酸 1成分形	アルコール 1成分形	オキシム 1成分形
	1成分形	2成分形	3成分形			
低モジュラス (メタル・PCカーテン ウォール・土木用)	トスシル 10 ①+1	トスシル 361 ②+2				
一般用 (ガラス・一般建材用)				トスシル 371	トスシル 380	トスシル 381 ③+3
中・高モジュラス (ストラクチャル グレイジング用)		トスシル 62		トスシル 1200		
防カビ性 (ハスタブ用)		トスシル 63		トスシル 73		トスシル 83
超透明 (ショーケース用)				トスシル 78		
難燃性 (防火区画内用)		トスシル 64				
難燃充填シール用 (シリコンフォーム)		トスシル 300				
流動性 (土木用)		トスシル 67				
マスタック型 (油性補修用)			トスシル 90			
*1 JIS A 5758「SR-1-10030-A-N」 *2 JIS A 5758「SR-2-10030-A-N」 *3 JIS A 5758「SR-1-9030G-A-N」						
認定品 許可番号 第381142号						

信頼のブランド

トスシル

各種用途に適した 製品のラインナップ

超高層ビルに数々の実績があるトスシル。この実績が保証する品質の確かさ、十分なる技術サービス体制、豊富な製品ラインが、どのような用途にもきっとご満足のゆく製品となって、皆様のお手許にお届けすることができます。

●建築用シーリング材に関することなら、まず、東芝シリコンにご相談ください。



東芝シリコン

東芝シリコン株式会社

本社/☎106 東京都港区六本木6-2-31

☎(03) 479-3501代 ●支店/大阪・名古屋

営業所/札幌・仙台・金沢・北関東・広島・福岡

AUTONSEALER 101N-LM

非汚染タイプ
だ

から
何ヲ塗ツテモ大丈夫!!

ダイジヨウブ



新発売

&

オートンALCコーク

〈ALC専用シーラント〉

☆経済性に
ご注目下さい。



—製造元—

オートン化学工業株式会社

東京都港区西新橋2-23-1 ☎(03)437-3482(代表)
大阪府淀川区宮原1-8-12 ☎(06)396-1421

—発売元—

株式会社 岩田商会

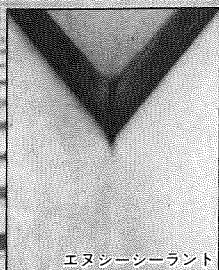
札幌 011-741-3302 長野 0262-24-0309 大阪 06-356-1121
仙台 022-266-1007 浜松 0534-64-6331 広島 082-249-7642
東京 03-438-0511 名古屋 052-231-8591 福岡 092-472-0235

耐火2時間

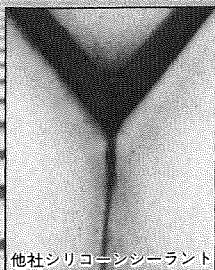
(JIS A 5758 耐久性区分 8020に適合)
建設省告示1231号 準不燃に適合

耐火目地シーリング材・無汚染タイプ

エヌシーシーラント



エヌシーシーラント



他社シリコーンシーラント

●カーテンウォール工法のPC、ALC、フレキシブルボード、
インシュレーションボードなどの可動目地に

●大理石、レンガ、タイルなどの不動目地に

製造元 **日東紡コンパウンド株式会社**

本社/〒103 東京都中央区日本橋富沢町9番10号(稲村ビル)

TEL 03-669-1007(直通)

・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

発売元



化研マテリアル株式会社
KAKEN MATERIAL LTD.

〒105 東京都港区西新橋3-8-1(第2鈴丸ビル)

TEL 03-436-3011(代表)

FAX 03-433-3914



技術で奉仕する——ヤマモトの PAT.

コーキングガン



新製品

YSG-750W

YSG-900W

(ワンタッチ高圧二段切換式)

YSGシリーズ (ハンド
シリンダーガン) YPGシリーズ (エア式
コーキングガン) YCGシリーズ (ハンド
レトリッジガン)

コーキングガンの専門メーカー

株式会社 **山本製作所**

本社 TEL 06(623)5170(代表) FAX 06(623)6155

東京営業所 TEL0427(35)7727(代表) FAX0427(34)6638

主成分カネカMSポリマー[®]が
 耐久性、耐候性、石材への非汚染性、
 塗装性などの優れた特性を
 バランスよく発揮する
 変成シリコンシーリング材。
 建築界の高度で多様なニーズに対応する
 新時代のシーリング材として、
 幅広い用途で注目を集めています。

▼大正海上火災本社ビル



▲都ホテル大阪

超高層ビルからマンション住宅まで、
 幅広い用途で大躍進。

時代が求めた高性能。

変成シリコンシーリング材
 カネカMSポリマー[®]

鐘淵化学工業株式会社

特殊樹脂三部

- 本 社 〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日新聞ビル
 (06)226-5331(ダイヤルイン)
- 東京支社 〒107 東京都港区元赤坂1丁目3番12号 赤坂センタービル
 電話：東京(03)479-9675(ダイヤルイン)

目 次

- 11 会長挨拶、顧問・日シ工連会長近況報告
太田 稔・小池迪夫・加藤正守・山本 勇
- 15 工業会1年の歩み
- 17 開口部シーリング防火研究委員会報告
- 21 新春放談・21世紀へ向けての初夢
西尾直人(東レチオコール)・大津山峻茂(三井東圧化学)
石本孝郎(鐘淵化学工業)
- 29 俳句“鎌倉”(加藤正守)
- 30 会員会社紹介
大日化成・日東ポリマー工業・日本フランシール
- 33 技術文献紹介
- 36 本部だより・各地からのたより
- 39 刊行物案内
- 40 日本シーリング工業会の概要

変成シリコン系2成分形シーリング材

ニッシラー・MS

ポリウレタン系2成分形シーリング材

ニッシラー・ウレタン

ポリサルファイド系2成分形シーリング材

ニッシール

ブチル系1成分形シーリング材

スレンシール

〈製造元〉

日興化学工業(株)

■ ☎135 東京都江東区白河4-9-5

■ ☎東京03 (642) 7105~6・7155

豊かな実績 (ポリサルファイド系) 確かな信頼
“チオコール”シーラント



“トプコールS”は、従来の“トプコール”の硬化性を大幅に改良した新製品シーラントで、いままでより約2倍の硬化速度を実現しました。

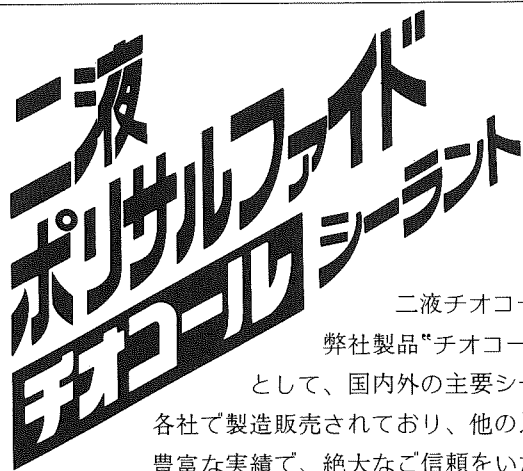
接着性、耐久性、防カビ性、作業性、貯蔵安定性など優れた性能をバランスよく備え、冬場の押し出し性も良好で、使い勝手の良いシーラントです。

1パック：333ml入りカートリッジ×20本
 標準色：ホワイト・グレー・ブラック
 アイボリー・ブラウン

- 接着性が良い
- 耐久性が良い
- 作業性が抜群
- 汚れない・汚さない

ホテル日航

豊かな実績



二液チオコールシーラントは、弊社製品“チオコールLP”を主原料として、国内外の主要シーラントメーカー各社で製造販売されており、他の追随をゆるさない豊富な実績で、絶大なご信頼をいただいております。

東レチオコール株式会社

●本社 東京都中央区日本橋本石町3-3-16(日本橋室町ビル) ☎03(241)1845(代)

総代理店 **株式会社野村事務所**

●本社営業2部 東京都港区西新橋1-1-15(物産ビル別館) ☎03(502)1468(代)
 ●大阪出張所 大阪市南区南船場4-12-8(関西心斎橋ビル) ☎06(243)0341(代)

市場秩序の回復を

日本シーリング工業会

会長 太田 稔



新しい年を迎えるに当り、誌上を借りて会員各位に新年の慶びを申し上げます。

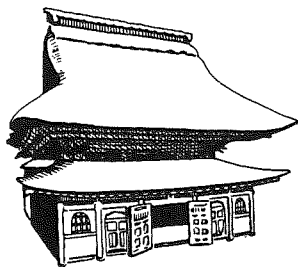
さて昨年は、建設業の著しい回復に伴い、私どもの業界も明るさを取りもどし、久方

ぶりに生産量も可成り伸長したことと思われま

す。政府の内需拡大策は、今年度も引続き継続されると思われま

すので、当分は明るい業況が続くものと期待しております。最近の状況では建設の各業種とも安値受注は避ける傾向にあるに拘らず、当業界の過当競争が収まらないことは誠に嘆かわしいことであり、企業経営に危機を招くような事態に至っておりますことは憂慮すべきことでございます。今年度は業界の秩序ある発展に一層努力いたす所存でございます。

技術面では、日本建築仕上材工業会並びに日本外壁防水材工業会との共同研究も2ヶ年を経過し、その成果も近くご報告いたしますが、これは夫々の工業会員の全製品を網羅した広範なもので、極めて貴重な成果であると存じます。また開口部シーリング材防火プロジェクトの研究も完了し、シーリング材の耐防火性能の評価について一つの指標を与えるも



近況報告

のと確信いたします。JIS A 5758は一昨年改正されましたが、その際審議をつくし得なかった問題点の検討と、ISOとの整合を図り、次回の改正に万全を期すべく審議を進めております。JIS及びJASSの改正並びに上記の研究成果などは、各地での説明会を通じ普及につとめ、シーリング防水の信頼性向上に貢献していると存じております。

シーリング管理士につきましては、ますます業界でのご認識が高まり、今回開催いたします研究会には積極的にご参加戴き、管理士69名、技術管理士84名と、且つてない規模となっております。

建設業界は今年も可成り繁忙であると予想されます。この時に当り私ども材・販・工の三者は運命共同体として相互の信頼の下に秩序ある市場の発展につくしたいと願っております。何卒ご協力賜らんことを願ってやみません。

年頭所感

日本シーリング工業会顧問

東京工業大学教授 小池 迪夫



大学の新学期は4月に始まる。国の会計年度も同様であるから、多くの人の1年の生活は4月に始まる。

1月を起点とするのは、所得税や市民税などの税金と、

プロ野球や伝統的な民俗行事ぐらいのものだ。

年賀状の準備は12月の大仕事である。お歳暮、忘年会、大掃除、年越し、初詣で、お年始回り、新年宴会……年末のボーナスは、その民俗を支える紐つき予算といえる。

さて、新年である1988年を昭和63年として迎えることは、誠に喜ばしいと思う。だが、そのめでたい年頭に当たって、何等かの所感を求められると、リズムが狂って困ってしまう……。

今年は戊辰。



120年前の戊辰戦争に思いを馳せた。徳川幕府二百数十年の歴史を閉ざす、大政奉還という政治決着による明治維新の激しい余震であった。流された多くの尊い血の上に、今日の日本がある。

あれから2回めの戊辰。

今年は国立大学にとって特別な年になるような気がする。既に数年前から、国立大学に開港を迫る、経済界の黒船の威嚇射撃が激しくなっていたが、中曽根総理の時代にそれが厳しく具体的になった。

現在攻撃の矢面に立たされているのは、筆者が所属するような大学附置研究所だ。

大学の研究所とは、一体何をすところか……。それに答えるには、それなりの存在価値を示す成果をあげるほかあるまい。このところ改組、廃組を迫られた研究所が幾つかある。

文部省による大学附置研究所の評価結果がある。多分極秘扱いの資料と思われるが、流布して物議をかもした。さいわい、我が研究所は最上位にランクされていた。しかし、それは研究所という組織の成果ではなく、個人のそれに基づく評価のように思われる。それが、組織存続の永劫免罪符ではないことを、研究所総べての構成員が、真剣に考えなければならない強力な外圧である。

しかし、この黒船の威嚇射撃が、日本の将来を本当に正しく指向したものなのかどうか、誰が何時評価するのだろうか。

黒船の威嚇射撃は、やがて教育の現場まで及ぶに違いない。しかし、現在安易に求められているような、すぐに役立つ教育や研究を強制された弊害を、次の戊辰の年になって気付いても手遅れなのだ。

我々は、すぐ後ろにひたひたと迫りつつある、韓

国や新生中国の足音に、真剣に耳を傾けるべきときにきていることを認識しなければならない。

これは、幕臣の最後のほやきではない。

今年、日本にとって大切な年なのだ。

優勝のこと

日本シーリング工業会顧問
千葉大学助教授 加藤 正守



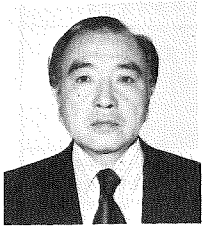
ゴルフほどうまくなることを要求されるスポーツはない。だが、やれグリップだ、アドレスだといわれてもそう簡単にマスターできるものでもない。ゴルフを始めた頃はもっ

ぱらBB賞ねらいだったが、最近は少し上達したのか、飛び賞ねらいというところだ。勿論、ハンディは依然として32~36だ。ところが、神様のいたずらか優勝してしまった。ゴルフはハンディのあるスポーツで、ハンディどおりのスコアを出せば誰でも上位入賞の可能性は高いが、優勝は仲々むずかしいものだ。何はともあれ、念願の初優勝を果したのだ。優勝カップには、その名が燦然と刻まれている。パートナーの皆さんありがとうございました。

優勝してから準優勝、3位と連続して上位入賞している。技術というより優勝という自信なのではないだろうか。今後もあまりうまくないが楽しいゴルフを続けたいものである。優勝って、ほんとーにいいもんですね。

互助精神で一致協力

日本シーリング工事業団体連合会
会長 山本 勇



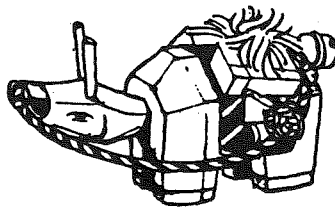
業界の皆様、新年明けまして御目出度う御座居ます。昨年中は、多大の御支援並びに御愛顧を賜わりお蔭様にて会員一同無事新年を迎えることが出来ました。全会員を代表

し深く御礼を申しあげます。昨年は業界を取りまく日本経済の環境が内外共に大きく変動し、特に国際収支の不均衡による“ドル安、円高”，10月末の株価を始め債券市場の大暴落、産油国の値上げ歩調等々による影響は、我が国輸出関連企業、また、財テクによって息をつないだ大部分の企業にも大きなショックを与え、年末を間近に控え大波乱を呈しました。政府は局面打開を急ぐ必要に迫られ内需拡大を一層推進すべく、土木建設関連の思い切った公共投資を実施することを決定（7兆円）しました。この時期に政界では総理大臣が中曽根首相より竹下氏に替わり、竹下新内閣の誕生という局面となりました。政策の良否が経済の安定と左右することは当然で、竹下新内閣に対し、低迷打開に全力投球を強く望んで止まない。こうした環境下の中ではありましたが、建築業界としては、比較的波及が穏やかであったと思えるのは救いでした。特に内需拡大政策の効果が

近況報告

首都圏を皮切りに、中秋に至り、地方にも拡がりつつあり、我々業界内にも明るい光を感じさせてくれるようになりました。お得意先であるゼネコン各社におかれても受注見通しも順調のようで、年初より大忙しの年となりそうで誠に同慶の至りです。安値受注とか、労働力確保及び安全作業には特に注意すべきで、仕事を取り合うための競合、職方の引き抜き合いの愚は敵に戒しめ、互助の精神をもって各位冷静に対応し、多忙化してゆく作業を無事故、無災害で乗り切るよう指導してゆくべきです。

我々にとっても、お得意様にとっても、多忙時における災害対策は見落とし勝ちになる危険があります。発生しては了えば元も子もパーで、悲しいことだけ残ります。深く銘記しましょう。多忙にして、災害ゼロで、儲けの残る素晴らしい新年とすることを、日シ工連会員が一致協力達成することを年頭の誓いのスローガンと致しましょう。組織内朗報として9月に、何かと御迷惑をお掛けしておりました四国地区が、両当事者役員がたの努力により無事統合を完遂され、同時に我々日シ工連への入会手続きを完了致しました。日シ工連も創立13年目に至り、組織作りが完成致しました。昭和63年は、日シ工連の本当の第一年目であるかも知れません。全会員猶一層の一致団結、融和の上に立って共存共栄を計りましょう。官公庁、関連業界の皆様、本年も又、倍旧の御指導、御支援の程よろしくお願い申し上げます。



IT'S JUST SEALANT !

☉JIS A 5758 許可番号576247

フジチオコール

液状ポリサルファイドをベースとした2成分形のシーラントで、構造物の変位に追従し、日光、油薬品等によく耐えます。

☉JIS A 5758 許可番号381074

ユーゼット103

ウレタンエラストマーの特性を活かして、シーラントとしての要求を満たし、且つ優れた諸性能を有する2成分形のシーラントです。

JIS A 5758 耐久性区分 9030該当

メトリック

変成シリコンポリマーをベースに耐熱性、耐久性は抜群、経済性や施工条件に対して許容度を高めた総合性能バランスの良さが大きな特徴のシーリング材です。

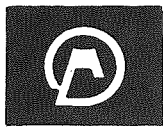
アクリルエマルジョンをベースにしたシーリング材で、長期にわたり柔軟性を失うことなく、その性能を十分に発揮します。

アクリルエース

乾性油および不乾油などの油や石油樹脂、タルクなどを混ぜて練り合せ柔軟性のパテ状にした油性コーキング材です。

エバーシール

☉JIS A 5751 許可番号368206



昭石化工株式会社

本社 東京都渋谷区代々木1-11-2 TEL.(03)320-2005
 札幌出張所 011(251)7912 東京営業所 03(320)2013
 仙台出張所 022(267)5319 新潟営業所 025(225)2331

名古屋営業所 052(231)6568
 大阪営業所 06(341)6395
 広島出張所 082(283)9226
 福岡営業所 092(291)0008

建築防水資材の名コンビ

シーリング材

シリコン1液2液 変成シリコン
 ポリサルファイド
 ウレタン1液2液
 アクリル フチル 油性

バックアップ材

角型 丸棒 超硬質 特殊形状
 コムグレイジングローブ
 マスキングテープ
 他副資材

- ★防水吹付材・エポキシ注入材
- ★エポキシライニング材・防水塗床材
- ★ウレタン防水材・シート防水材・伸縮目地材

豊富な在庫で迅速納入



フヨー株式会社

本社・建材営業部/〒130東京都墨田区業平5-5-6 Tel.03(626)3371(代)
 大阪支店/〒532大阪市淀川区宮原5-6-10 Tel.06(395)0201(代)
 仙台営業所/〒982仙台市一本杉町37-18 Tel.0222(98)7334(代)



工業会1年の歩み

年月	主なできごと	関連業界
62. 1	<ul style="list-style-type: none"> ○新年会及び特別講演会 講師：小池教授（東京工業大学）「請負制度」—その歴史的背景 ○「シーリング」No.24発行。シーリング材と外壁化粧防水材の取合い（共同試験）、サイディング材の現況と課題を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○建築学会会長に谷資信氏 ○コンクリひびわれ対策で指針改定(案)作成（コンクリート工学協会）
2	<ul style="list-style-type: none"> ○第10回シーリング管理士、第8回シーリング技術管理士検定講習会実施 管理士56名、技術管理士64名が受験、夫々38名(65.5%)、51名(79.7%)計89名(74.2%)が合格。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「建材産業研究会」発足（通産省）
3	<ul style="list-style-type: none"> ○JIS審査事項の改訂に関する意見を具申した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大阪で初のDIYショー開催 ○61年新設住宅130万戸突破(前年比10.4%増) ○着工増でとび・型枠工不足に ○62年度官民共同開発テーマ発表（建設省）
4	<ul style="list-style-type: none"> ○「シーリングニュース」No.29発行 今回より会員会社の寄稿による、会社紹介を掲載した。 ○シーリング管理士等更新講習実施 東京55名、大阪56名、計111名が参加した。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ○第24回総会（於ホテル国際観光） 出席57名、61年度事業報告、決算報告、監査報告並びに62年度会長・役員選出（太田稔会長留任）、事業計画、予算案を可決承認。 	<ul style="list-style-type: none"> ○SGS構法研修会開催（東シ協） ○62年度建設投資実質2.6%増見込み（建設省）
6		<ul style="list-style-type: none"> ○総プロ普及用技術指針刊行 ○日シ工連第12回通常総会開催（松山）
7	<ul style="list-style-type: none"> ○「シーリングニュース」No.30発行 官公庁・公団などのシーリング工事仕様を紹介。 ○通産省通達 「輸出関連法規の遵守の徹底について」通産大臣より指示があった。 ○共通仕様書 建設省及び住宅金融公庫の要請を受け、仕様書改訂に関する意見を具申した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○シーリング防水技能検定実施 ○外壁防水用塗膜材 JIS 化着手
8	<ul style="list-style-type: none"> ○総プロ報告書の贈呈を受く 3年8ヶ月経過報告を贈呈された。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共事業円滑執行で労働者確保を通達（建設省）
9	<ul style="list-style-type: none"> ○四国シーリング工事業協同組合発足 9月1日付で発足、会員数44社 ○検定講習会 62年度検定講習会の募集を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽住宅建築事業本格化へ（住・都公団） ○61年度プレハブ住宅販売戸数過去最高に
10	<ul style="list-style-type: none"> ○「シーリングニュース」No.31発行 外国のシーリング材規格とJISを対比解説した。 ○管理士規約の改正 卒業証明書、特化物主任者証の提示を省略し、簡素化した。 ○「シーリング材ハンドブック」第2版発行 第1版の誤植を訂正し、第2版を発行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○建築学会大会開催（神戸） ○技能工・資材不足全国的に
11	<ul style="list-style-type: none"> ○公正取引委員会の立入調査を受く シリコンシーリング材・カートリッジの値上げに関し立入調査があった。 ○輸出法規遵守の件 通産大臣の要請に応え、会員会社の対応状況を報告した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○外壁補修工事団体各地で誕生 ○官民共同研究「外壁改修技術開発推進委」発足
12	<ul style="list-style-type: none"> ○顧問・相談役を囲む懇談会開催 工業会の活動状況を報告、ご意見を賜る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○許可業者総数減少も防水は4.7%増（建設省） ○「建築・設備維持保全推進協議会」発足

超高層ビルでの実績と信用

シーリング工事 責任施工

日本化成工業株式会社

許可番号 大阪府知事許可(般-62) 第34549号

〒564 吹田市南金田1-4-46

TEL 06(385)3886(代) FAX06(385)3055

昭和日本化成株式会社

許可番号 知事許可(般-62) 第12100号

〒814 福岡市早良区原4-8-11

TEL 092(843)3311(代) FAX092(843)3314

南日本化成株式会社

許可番号 知事許可(般-61) 第4182号

〒891-01 鹿児島市中山町2037-5

TEL 0992(67)6121(代) FAX0992(67)6125

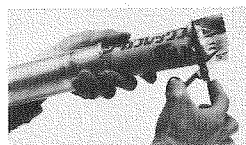
極寒

酷暑

どんな気候・風土にも耐えぬく

抜群の耐候性!!

シーカフレックス15LM



- 1成分形ポリウレタン弾性シーリング材
- 低モジュラス
- 肉やせしない
- カートリッジ、モノソーセージ、缶タイプ



日本シカ株式会社

- 東京営業所 ☎(03)436-6031(代) ● 仙台営業所 ☎(022)267-2501(代)
- 大阪営業所 ☎(06)4315-7851(代) ● 札幌営業所 ☎(011)221-6331(代)
- 名古屋営業所 ☎(052)733-7353(代) ● 福岡営業所 ☎(092)472-1684(代)
- 富山営業所 ☎(0764)42-3232(代) ● 沖縄出張所 ☎(0988)85-3987(代)

■ 本社 西105東京都港区新橋4-2-1 第29森ビル TEL(03)436-4131(代)

開口部シーリング防火研究委員会 報告

開口部シーリング防火研究委員会

前号の中間報告では、開口部シーリング防火研究委員会（以下当委員会と略す）の事務局が、昭和60年11月に日本シーリング工業会に設置されるまでの経過、ならびにその組織図・委員会構成名簿及び研究の目的について報告した。

又、研究目的の一つであった「シーリング材の耐火に関する内・外の法規・規格の調査」については、結果を表にまとめたが、残念ながら現状では、シーリング材を規定、又は想定したものは存在しないことを報告した。

本報では、前報で言及したように下記試験の測定結果について報告する。

- (1) UL-94「合成樹脂の耐炎試験」
- (2) JIS K 7201「酸素指数法による高分子材料の燃焼試験方法」
- (3) ISO/DP 5657 “Ignitability test”
- (4) 輻射パネル加熱試験

又、日本シーリング工業会と同様に外部委員会として、開口部材開発分科会に参加した各工業会の研究概要及び専門委員会で検討された開口部の概念等についても報告したい。

(1) UL-94 「合成樹脂の耐炎試験」

- 1) 試験方法
 - (i) 試験装置の概要
図-1 に示す。
 - (ii) 試験体形状

長さ：127mm (5 inch)
幅：12.7mm (0.5 inch)
個数：5個

(iii) 試験内容

- ① 試料は長さ5 in、幅0.5 inの試験片を5個1組とする。
- ② 図-1の方法で10秒間接炎し、消炎後再度同じことを繰り返す。
5個の試験片で合計10回接炎する。
- ③ どの試験片も離炎後のフレーミングは10秒以下(V-0)又は30秒以下(V-1, V-2)であること。
- ④ 10回の接炎でのフレーミングは合計50秒以下(V-0)又は250秒以下(V-1, V-2)

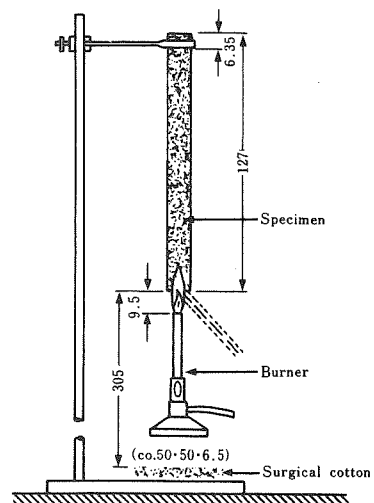


図-1 UL-94 試験装置

であること。

- ⑤ クランプ迄フレーミングまたはブローしないこと。
- ⑥ 12 in 下においた綿を発火させるフレーミング粒を滴下しないこと (V-0, V-1)。フレーミング粒またはグロウイング粒を滴下し綿を発火させる (V-2)。
- ⑦ 第2回目の炎をとり去った後のグロウイング

30秒以内 (V-0) 又は60秒以内 (V-1, V-2) であること。

(iv) 評価

V-0, V-1, V-2 の評価を行う。

2) 試験結果

試験結果を表-1にまとめる。

3) 考察

難燃タイプのシーリング材6種の内5種が上記グレードに合格, 他は全て不合格となった。

不合格となったシーリング材では, シリコン系が, 他の基材と異なる耐燃性を示した。

又ウレタン系でも難燃処理を行えば, V-2に合格することが判明した。

表-1 UL-94垂直燃焼性試験結果

試料記号	シーリング材略号	色	UL-94 V 評価	備考
A	SR-1	グレー	NG	フレーミングが60秒以上, 滴下はなし
B	SR-1	〃	〃	〃 120秒, 〃
C	SR-1改	〃	〃	〃 60秒, 〃
D	SR-1改	〃	V-O	トータルフレーミングが28秒
E	SR-1改	〃	〃	〃 が30秒
F	SR-2	〃	NG	フレーミングが120秒以上, 滴下はなし
G	SR-2改	〃	V-1	トータルフレーミングが142秒
H	SR-2改	〃	V-O	〃 が2秒
I	MS-2	ホワイト	NG	クランプ迄燃え上がった
J	PS-2	グレー	〃	〃
K	PS-2	〃	〃	〃
L	PS-1	〃	〃	〃
M	PU-2	〃	〃	〃
N	PU-2改	ブラック	V-2	トータルフレーミングが11秒 但し滴下が発生し綿が燃えた

(注1) 尚25°Cで保管したサンプルと70°C×168hrs放置したサンプルに大きな差は認められなかったため25°C保管の値を示した。
 (注2) 改は難燃対策品である。

(2) JIS K 7201

「酸素指数法による高分子材料の燃焼試験方法」

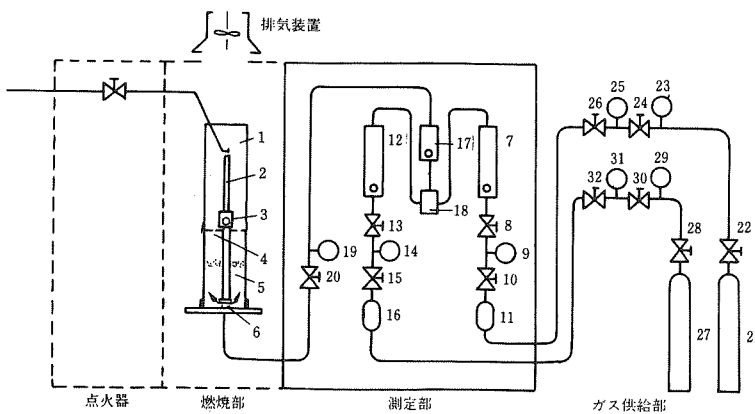
1) 試験方法

(i) 試験装置の概要

図-2, 図-2'に示す。

(ii) 試験体形状

長さ: 150mm



- 1 燃焼コラム, 2 試料, 3 試料ホルダー, 4 ステン金網, 5 ガラス粒, 6 コラム台, 7 酸素流量計, 8 酸素流量調節バルブ, 9 酸素流量圧力計, 10 酸素流量圧力調整器, 11 清浄器, 12 窒素流量計, 13 窒素流量調節バルブ, 14 窒素圧力計, 15 窒素圧力調整器, 16 清浄器, 17 混合ガス流量計, 18 混合器, 19 もれ点検圧力計, 20 閉止弁

図-2 JIS K 7201 試験装置

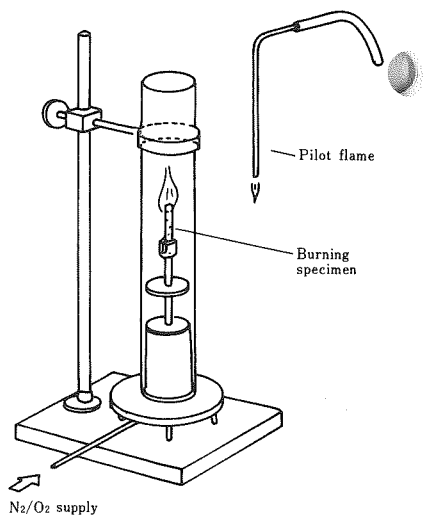


図-2' 燃焼部拡大図

幅 : 6 mm
 厚さ : 3 mm
 個数 : 10個

(iii) 試験の内容

N₂ と O₂ の混合気体を供給し、チューブの中で試験体が継続的な燃焼をするのに必要な O₂ 濃度を調べ、その材料の酸素指数とする。

$$\text{酸素指数} = \frac{O_2}{O_2 + N_2} \times 100$$

2) 試験結果

試験結果を表-2 にまとめる。

3) 考察

汎用タイプでは酸素指数値18.6~23.2, 難燃タイプでは同じく26.0~44.6の結果となった。

外断熱工法のプラスチックで難燃性の目安とされている酸素指数値26は、シーリング材についても難燃性の目安となるものと考えられる。

**(3) ISO/DP 5657
 "Ignitability test"**

1) 試験方法

(i) 試験装置の概要

図-3 に示す。

(ii) 試験体形状

大きさ : 165×165mm

厚さ : 実厚 (但し70mm以下)

曝露面 : 140mm φ

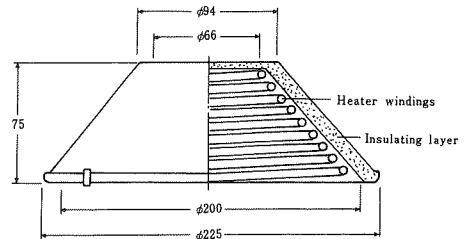
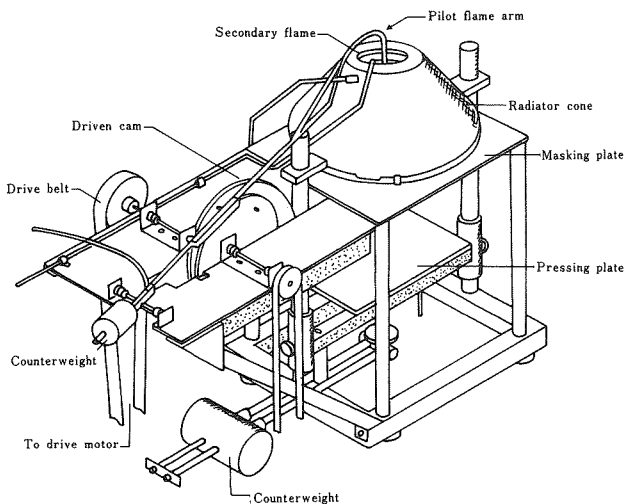
個数 : 5個

本試験では、シーリング材を石綿セメントパーライト板に平滑に塗布したサンプルとシーリング材を十字目地 (目地形状10×10mm) に打設したサ

表-2 酸素指数の試験結果

試料記号	シーリング材略号	測定値			平均値
A	SR-1	22.4	22.8	22.8	22.7
B	SR-1	22.8	22.8	22.8	22.8
C	SR-1改	25.9	25.9	26.3	26.0
D	SR-1改	32.0	32.5	32.5	32.3
E	SR-1改	37.7	37.7	37.7	37.7
F	SR-2	23.2	23.2	23.2	23.2
G	SR-2改	35.1	35.5	36.0	35.5
H	SR-2改	44.3	44.7	44.7	44.6
I	MS-2	18.4	18.4	18.9	18.6
J	PS-2	21.5	21.9	21.9	21.8
K	PS-2	20.2	20.2	20.6	20.3
L	PS-1	20.2	20.2	20.2	20.2
M	PU-2	19.7	20.2	20.6	20.2
N	PU-2改	27.2	27.6	28.1	27.6
N*	PU-2改	28.1	28.1	28.5	28.2

(注3) 測定はDJKインターナショナル(株)に依頼しJIS-K-7201に準拠して実施した。
 試験片の形状は、 A~N : A1号 幅6.5mm 長さ70mm
 N* : B1号 幅60mm 長さ150mm
 である。



Radiator coneの詳細

図-3 ISO/DP 5657 試験装置の概要

ンプルを用いた。

(i) 試験の内容

平滑な材料又は積層材料などの着火性を調べるための試験で輻射コーンで試験体を加熱し、加熱により発生した可燃性ガスに口火が引火する時間及び発火（フラッシュ）の回数を測定し、着火時間15分を目安に判定する。

輻射レベル 1, 2, 3, 4, 5 w/cm²

2) 試験結果

試験結果を表一3, 4, 5にまとめる。

3) 考察

3wの輻射熱で全ての基材を着火したが、シリコーン系は着火し難く、他基材は着火し易い傾向が認められた。これは、UL-94の耐炎性と

の相関性を示すものであった。
なお、ベタ塗り（平滑塗布）の試験体と十字目地の試験体では、シーリング材（可燃材料）の量が多いこと及び炎の接触が容易なことから、ベタ塗りの供試体の方が着火し易い傾向が認められた。

(4) 輻射パネル加熱試験

1) 試験方法

(i) 試験装置の概要

図一4に示す。

なお、本試験装置は、開口部防火研究委員会の活動の一環として提案されている試験装置で、建設省建築研究所・長谷見雄二博士によって開発されているもので、現在研究段階のものである。

(ii) 試験体形状

アルミサッシバーで凹字型枠を製作し、この溝にシーリング材を打設（目地形状20mm×15mm）、試験体とした。

(iii) 加熱方法

加熱の方法は、試験体取付け枠に前述の試験体を3個取付け、前もって測定してある所定の輻射量が得られる位置に試験体面が来るように試験体を取付けた移動枠をセットする。

その後、輻射加熱炉に点火し、加熱を

表一3 着火性試験の結果

レベル (w/cm ²)	略号	シーリング材	1 w		2 w		3 w		4 w		5 w	
			1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
A	SR-1	F	ナシ	ナシ	1	2	1(7)	4(18)	7	6	-	-
		I	NI	NI	702	786	194	219	103	84	-	-
							(256)	(234)	(128)			
D	SR-1改	F	ナシ	I	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ		
		I	NI	NI	190	200	105	88	84	76		
F	SR-2	F			2	0	7	3	5	5		
		I			NI	NI	184	124	70	61		
H	SR-2改	F	ナシ	ナシ	9	51	1	1	ナシ	ナシ		
		I	NI	NI	716	NI	151	167	96	106		
I	MS-2	F	8	9	1	4	3	1	1			
		I	749	646	129	139	59	51	36			
J	PS-2	F	8	11	5	6	1	1	2			
		I	557	574	125	113	52	52	32			
							(52)	(59)	(64)			
M	PU-2	F	18	3	2	1	2	ナシ	ナシ			
		I	NI	NI	101	92	48	49	21			
N	PU-2改	F	ナシ	ナシ	8	11	ナシ	1	1	1		
		I	NI	NI	129	157	43	39	31	24		

F；フラッシュの回数

I；着火時間（sec）

(注4) 測定は建材試験センターにて現在審議中のISO/TR 5657によって実施した。試験片は図-5に示すベタ塗りの場合と十字目地の場合を測定した。

(注5) 測定値のうち（ ）で記したのは十字目地の場合である。

表一4 試験結果の詳細(1)

種類	記号	輻射熱 w/cm ²	番号	着火時間 (秒) (分・秒)	フラッシュ回数 (回)	観察状況	写真番号	
							着火直後	試験後
シリコーン系	SR-1 A	1	1	15分内なし	0	表面はほとんど変化しなかった	9	25
			2	15分内なし	0		9	25
		2	1	702 (11' 42")	1	表面がうすくはくりした	13	32
			2	786 (13' 06")	2		13	32
		3	1	194 (6' 14")	1	表面がうすくはくりした	17	40
			2	219 (6' 39")	4		17	40
		4	1	103 (1' 43")	7	表面がうすくはくりした	21	48
			2	84 (1' 24")	6		21	48
シリコーン系	SR-1改D	1	1	15分内なし	0	表面はほとんど変化しなかった	9	26
			2	15分内なし	1		9	26
		2	1	190 (3' 10")	0	表面にふくれが生じた	13	33
			2	200 (3' 20")	0		13	33
		3	1	105 (1' 45")	0	表面にふくれが生じた	17	41
			2	88 (1' 28")	0		17	41
		4	1	84 (1' 24")	0	表面にふくれが生じた	21	49
			2	76 (1' 16")	0		21	49
シリコーン系	SR-2 F	1	1	-	-	-	-	-
			2	-	-		-	-
		2	1	15分内なし	2	表面がうすくはがれた	14	34
			2	15分内なし	0		14	34
		3	1	184 (3' 04")	7	表面がうすくはがれた	18	42
			2	124 (2' 04")	3		18	42
		4	1	70 (1' 10")	5	表面がうすくはがれた	22	50
			2	61 (1' 01")	5		22	50
シリコーン系	SR-2改H	1	1	15分内なし	0	小さなふくれが生じた	10	27
			2	15分内なし	0		10	27
		2	1	716 (11' 56")	9	小さなふくれが生じた	14	35
			2	15分内なし	51		14	35
		3	1	151 (2' 31")	1	ふくれは目立たないが一部分白く変色	18	43
			2	167 (2' 47")	1		18	43
		4	1	96 (1' 36")	0	ふくれは目立たないが一部分白く変色	22	51
			2	108 (1' 48")	0		22	51

開始する。あらかじめ定めた放射量に、試験体面が到達するのに5～6分を要した。

(iv) 観察内容

加熱によるシーリング材の表面の変化及びパイロットフレームによる着炎の観察を中心に行った。

試験体面に対するパイロットフレームの接炎は、試験体面の変化の状況によって若干異なるが、点火3分後から1分毎に1回、接炎時間を15秒とした。また、着炎した炎が持続した時点で加熱を中止、実験終了とした。

2) 試験結果

(i) 放射量が1 w/cm²の場合

シリコン系、変成シリコン系は1成分形、2成分形とも加熱10分経過後も何ら変化を示さなかった。

しかし、ポリサルファイド系は加熱4分経過後から臭気を発生、ポリウレタン系は、加熱5分経過頃より表面が軟化したが大きな変化は生じなかった。(加熱時間10分で終了)

(ii) 放射量が2.5 w/cm²の場合

シリコン系は、汎用1成分形を除いてフラッシュが発生するが連続着炎には至らず、汎用1成分形はフラッシュもなく着炎しなかった。

変成シリコン系は、6分30秒でフラッシュ、7分30秒で着炎、樹脂が溶融落下しながら激しく燃焼した。ポリサルフ

表-5 試験結果の詳細(2)

種類	記号	放射熱 w/cm ²	番号	着火時間 (秒)(分・秒)	フラッシュ 回数 (回)	観察状況	写真番号	
							着火直後	試験後
変成シリコーン	MS-2 I	1	1	749 (12' 29')	8	表面はほとんど変化しなかった	11	28
			2	646 (10' 46')	9		11	28
		2	1	120 (2' 00')	1	表面はほとんど変化しなかった	15	36
			2	139 (2' 19')	4		15	36
		3	1	59 (59')	3	表面が茶色に変色	19	44
			2	51 (51')	1		19	44
		4	1	36 (36')	1	表面はほとんど変化しなかった	23	52
			2	-	-		-	-
ポリサルファイド	PS-2 J	1	1	557 (9' 17')	8	悪臭が生じた	11	29
			2	574 (9' 34')	11		11	29
		2	1	125 (2' 05')	5	悪臭が生じた	15	37
			2	113 (1' 53')	6		15	37
		3	1	51 (51')	1	悪臭が生じた	19	45
			2	52 (52')	1		19	45
		4	1	32 (32')	2	悪臭が生じた	23	52
			2	-	-		-	-
ポリウレタン	PU-2 M	1	1	15分内なし	18	表面が融解した	12	30
			2	15分内なし	3		12	30
		2	1	102 (1' 42')	2	表面が融解した	16	38
			2	92 (1' 32')	1		16	38
		3	1	48 (48')	2	表面が融解した	20	46
			2	49 (49')	0		20	46
		4	1	21 (21')	0	表面が融解した	24	52
			2	-	-		-	-
ポリウレタン	PU-2改N	1	1	15分内なし	0	表面が融解した	12	31
			2	15分内なし	0		12	31
		2	1	129 (2' 09')	8	表面が融解した	16	39
			2	157 (2' 37')	11		16	39
		3	1	43 (43')	0	表面が融解した	20	47
			2	39 (39')	1		20	47
		4	1	31 (31')	0	表面が融解した	24	53
			2	24 (24')	0		24	53

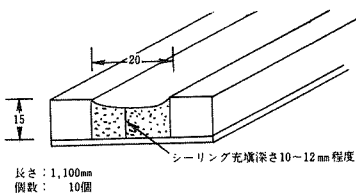


図-5 試験体形状

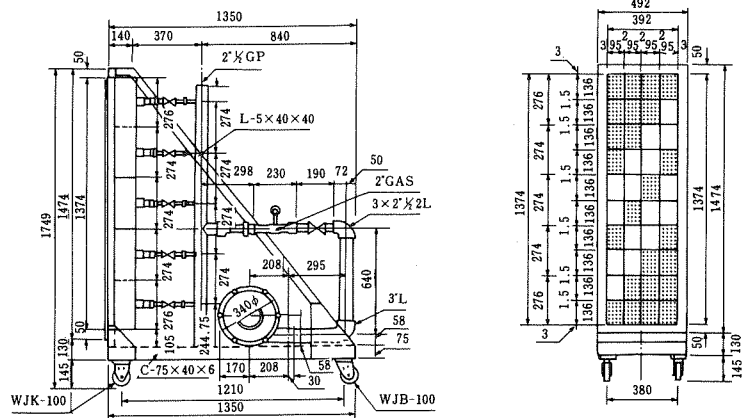
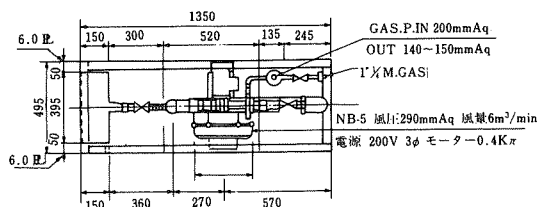


図-4 試験装置の概要



アイド系、ポリウレタン系汎用タイプは5分30秒でフラッシュ、8分で着炎したが、難燃処理したポリウレタン系は、フラッシュして5～20秒後に自己消火し、連続着炎には至らなかった。

(iii) 輻射量が3 w/cm²の場合

シリコン系は6～10分で着炎、他基材は何れも2～3分で着炎、難燃処理ポリウレタン系は6分で着炎した。

3) 考察

本試験においても、シリコン系は比較的燃えにくいことが実証された。しかし、ポリウレタン系でも難燃処理を施せば、自己消炎性等シリコン系の性能に近づき得ることが判った。

なお、本試験は、建築物の外部開口部に求められる防火性能のうち、類焼受害防止性能即ち周辺建物や同一建物下階の火災によって開口部構成材料であるシーリング材が燃焼し、火災の拡大の媒体となりうるか否かの基礎的な知見を得るために行ったものである。

次に、上記試験全般に対する考察を述べる。

(5) 考 察

UL-94, JIS K 7201, ISO/DP 5657及び輻射パネル加熱試験とも、各基材に対してほとんど同じ燃焼性の評価を与えた。

即ち、燃焼性については、シリコン系及び難燃処理したポリウレタン系の結果が良く、変成シリコン系、ポリサルファイド系、ポリウレタン系(汎用タイプ)は良く燃えることが実証された。今後防火用シーリング材としては、変成シリコン系・ポリサルファイド系は難燃処理を行う必要がある。

最近、開口部材に要求されている性能も、多種多様になってきている。シーリング材も単なる防水機能のみではなく、火災時の熱気流(火、煙、有毒ガス)を他の区画へ漏えいさせない気密性や、ガラスを落下させない保持性(シーリング材燃焼中)を要求されることが推測される。

以上が当委員会が2年間にわたって調査・実験した内容であり、現在報告書形式にとりまとめているところである。

次に開口部材開発分科会に参加した各工業会について述べる。(詳細内容はページ数の関係から省略する。)

(イ)防火用ガラス性能評価研究委員会(板硝子協会)

- ①新しい評価体系を想定した板ガラスの性能解明。
- ②ガラスの防火性に対する理論的解明。
- ③外部加熱を想定した板ガラスの受害防止性能の測定。
- ④外部加熱受害防止性能の新しい試験方法の適用可能性能の調査。

(ロ)乙種防火戸通則認定化委員会(日本サッシ協会・日本カーテンウォール工業会)

- ①既有アルミニウムサッシ乙種防火戸の構造、型式などの分析及び類型化。
- ②各種アルミニウム(住宅用、非防火型、防火型)の標準耐火加熱及び防火2級加熱による防火性能の把握。
- ③アルミニウムサッシの肉厚の差及び非加熱側の放熱効果による防火性能の把握。
- ④アルミニウムサッシ・ドア乙種防火戸通則化認定仕様書(案)の作成。
- ⑤アルミニウムサッシの低温加熱試験による防火性能の把握。

(ハ)シャッター性能研究委員会(日本シャッター工業会)

- ①遮熱力を向上させた防火シャッターの試作及び市販防火シャッターとの遮熱性能比較。
- ②火災隣接空間における遮熱安全距離の解明。

(ニ)外付ブラインドシャッター防火研究委員会(外付ブラインドシャッター懇話会)

- ①ブラインドシャッターとサッシの複合製品による防火試験。
- ②ブラインドシャッターとサッシの複合製品及びブラインドシャッター単体製品による輻射試験。

(ホ)プラスチックサッシ研究委員会(プラスチックサッシ工業会)

- ①現行の防耐火試験法、及び輻射加熱試験法等による、プラスチックサッシの防火性能の把握並びに乙種防火戸の性能を有するプラスチックサッシの開発。

(ハ)ポリカーボネート板研究委員会

(ポリカーボネート板工業会)

- ①構造耐力及び落下物に対する衝撃性能の評価と安全レベルの設定。
- ②用途・地域及び建築規模による防火上の適用範囲の設定。
- ③標準施工方法の設定。

今後、建築学会及び各種雑誌に上記外部委員会の行った研究成果が発表されるであろう。

最後に、開口部防火研究委員会の、専門委員会でまとめられた開口部の概念、分類、防火性及び設計法評価システムを表-6、7及び図-6～10にまとめる。

今後、開口部防火研究委員会で行われた燃焼実験、評価方法、実測値等を参考に、火災時に人的被害を絶滅させるための法的、建築学的な研究が、更に建設省・建築学会で行われ、建築材料に対する防火上の試験方法の標準化が行われることを期待したい。

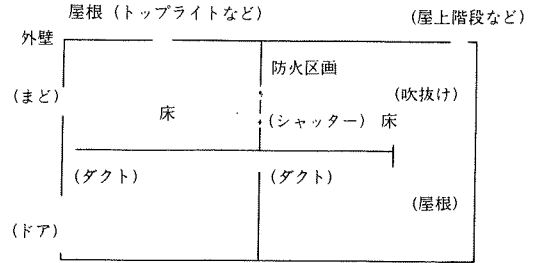


図-6 部位別の開口部材

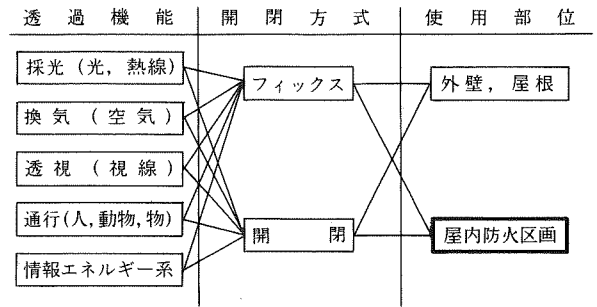


図-7 開口部の分類枠組

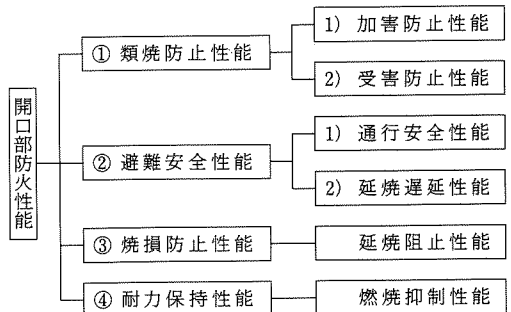
表-6 防火的にみた開口部の分類

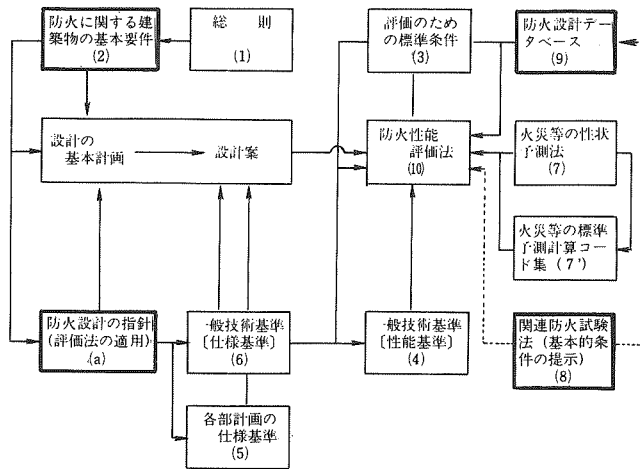
部 位	通過要素	開 口 部 の 例
①外壁、屋根にフィックス状態で使用される開口部	採光、透視	・ハメゴロシガラス窓・トップライト ・埋め込みガラスブロック窓・トップライト ・プラスチック製窓・トップライト ・大理石（オニックス）の窓、トップライト ・全面ガラスカーテンウォール、屋根 ・光を透過させるテント構造の大屋根 ・全面ガラスブロックの壁、屋根
	換 気	・給排気用ガラリ、網戸 ・ウォールスルーのヒートポンプや熱交換機
②外壁、屋根に開閉できる状態で使用される開口部	通 行	・玄関における出入口 ・バルコニー等への非常出口 ・外部廻りシャッター ・空港のハンガーや工場等の大型引戸
	採光、透視、換気	・共同住宅や一般戸建住居の窓、トップライト ・学校、オフィスビル等の開閉できる窓 ・天文台の窓 ・屋内スイミングプールや体育館等の開閉できるトップライト
③屋内の防火区画に固定して使用される開口部	採光、透視	・網入りガラススクリーン（乙防） ・その他
④屋内の防火区画に開閉しながら使用される開口部	情報エネルギー系	・大容量のプロアダクトの床貫通部 ・厨房のステンレスグリストラップ ・駐車場のステンレスガソリントラップ ・和風大便器
	通 行	・スチール製扉 ・シャッター ・エレベータ扉 ・木製扉 ・アルミ扉 ・コンクリート製マシンハッチ
	情報エネルギー系	・防火区画を貫通するダクトの防火ダンパー ・その他

表-7 開口部材の防火的工夫

開口部機能	防火性能	例
通行	輻射抑制	遮蔽的ドア
	通気抑制	自動閉鎖戸
	遮熱・遮炎	甲種防火戸
採光・見通し	通気抑制	はめごろし
	遮熱・遮炎	網入りガラス
通気	遮熱・遮炎	ダンパー
通行・見通し	通気抑制	エアカーテン
	遮熱・遮炎	乙種防火戸

図-8 開口部に要求される防火性能





- (1) 名称、目的などを示す
- (2) 安全性確保のための大原則
- (3) 建物種別等によって定まる人口密度、可燃物量、あるいは扉の開閉条件など子測評価のためのインプット条件
- (4) 性能による基本要件を満たしているかを確認する評価基準
- (5) 各部設計の仕様基準
- (6) 子測評価省略のための標準的条件
- (7) 火災等の性能子測の原則的方法
- (7') 子測計算の標準プログラム、これ以外の子測法については別途その有効性等を評定などでチェックして用いることになる
- (8) 評価に用いる材料等の性能を確認する試験法の火網
- (9) 材料・構法の耐火性、不燃性、発熱速度、その他評価のための資料集
- (10) 対策の信頼性の評価あるいはフェイルセーフの考え方を含む
- (a) 防火設計指針として建物別あるいは部位別に標準的な考え方、対策を示し、評価法の適用方法を示す

図-9 防火設計法のクレーム

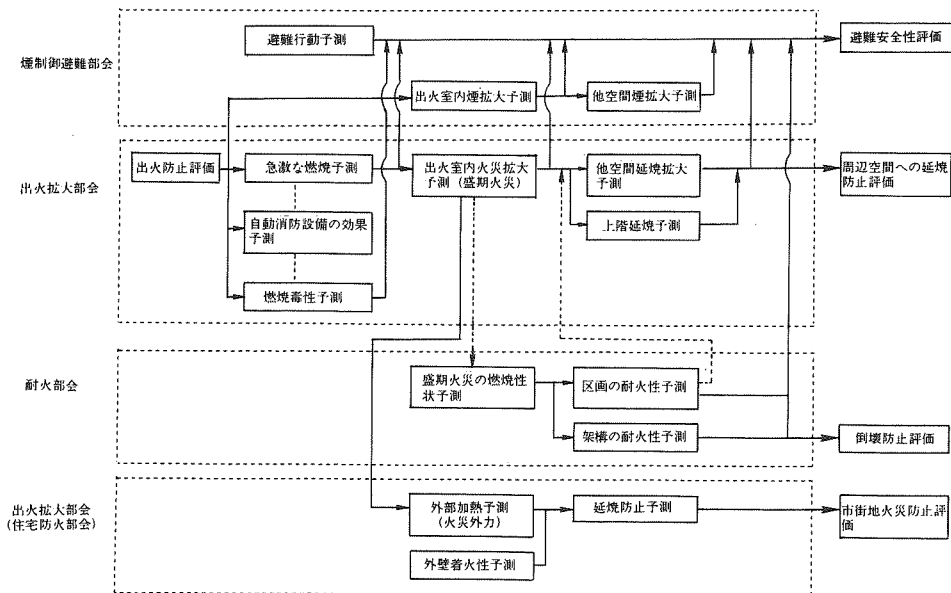


図-10 防火設計法における評価システムの構成

実績と信頼の シーリング材

JIS-A-5758 9030認定品

ポリサルファイド系シーリング材

ボニーシーラー

PS 2000

JIS-A-5758 8020認定品

ポリウレタン系シーリング材

ボニーシーラー

U 3000

JIS-A-5758 9030認定品

変成シリコン系シーリング材

ボニーシーラー

MS 3000

JIS-A-6024規格合格品

エポキシ系注入剤

エポセット

RH 200D

⑤ テイパ化工株式会社

本社 〒533 大阪市東淀川区下新庄3-11-28
 TEL 大阪 (06) 328-1118 (代表)
 東京営業所 〒105 東京都港区新橋6-10-3 (遠江ビル)
 TEL 東京 (03) 431-9357 (代表)



**エビ印 エアー式
 コーキング ハツリ システム**

PM-106M

1日・300m!
**ハツリ効率3倍アップの
 ハイパワー**

システム内容

PM-106M...コーキングチップ・CCM・エアーホース・軽便グラインダー・
 電源トリプルコード・コンプレッサー

- 小型・軽量(800g) - サッシまわりにも使用OK!
- 振動・衝撃極小で疲労なし。
- 破砕カバツゲンで作業性大巾アップ。
- チゼル脱着ワンタッチ。



日本理器株式会社

大阪営業本部 〒578 東大阪市中新開116-1 ☎ 0729(62)1601代
 東京営業本部 〒175 東京都板橋区高島平2-6-4 ☎ 03(550)3671代

ポリマーメーカーは語る

東レチオコール(株)

常務取締役
西尾 直人

為替相場がどんどん上って、今や我々の収入は欧米の先進諸国のどこのレートで換算しても、その国の中流階級以上の生活が出来る筈の計算となる。周囲を見渡しても10万\$近い年収を得、200万\$を超えようかという豪邸に住む方々が決して珍しくない。

ところがそういう方たちの暮しぶりは案外つましく翌月のゴルフ・コンペの会費に悩んだり、毎日の昼食のメニューは¥420のきつねうどん。年一回の休暇は熱海にある会社の寮へ泊旅行という程度でどう見てもハンブルグ、ロンドンやシドニー、ロサンゼルスに住む年収10万\$クラスの連中とは勝負にならない。

一体この違いは何処から生じているのだろうか？誰の目にも明らかなことは地価の違いである。特に地価暴騰に明け暮れたこの一年を振り返ってみても、土地問題が今の我々の生活全般をいかに制約しているか身にしみて感じられる。

一番直接的には重い重いローンにあえぐ人たちである。また、高い土地の上に建った貸家に住む人々もほとんど直接的な影響にさらされる。安い家を求めていった結果、朝夕の通勤に片道2時間近くを費やしている人々は深刻な被害者だ。

高騰した地価は公共投資費という形を通じて税金となり、家を買った人にも買わない人にもずっしりと掛って来る。

週末、ゴルフへ行こうにも先ず道中3時間かけた上3~4万円も取られては家で寝ていようかということになるのは当然である。とって手近な所で会

員権を買おうにもそのへんの地価を前提とした“クレイジー”な値段(アメリカなら1コースを買える！)。

もっと間接的な形まで考えるとこの高い地価が引き起こしている問題の深刻さは、とてもここでは論じ切れないが、結論を急ぐなら適切な都市計画の推進で、たとえ東京近辺ですら土地問題は随分緩和されるものと考えてみる。

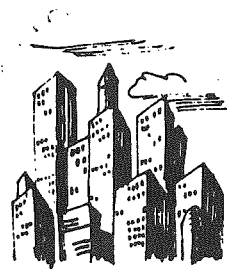
ただし其のためには思い切った高度利用とその前提として私権の制限が必要だろう。

1990年代に入って意外にも竹下内閣はこの問題にまっ正面から挑戦して土地改革を断行するのでは無いだろうか？

山手線の中から中・低層の建築は一掃され、環七内外までは高層マンションが緑地にかこまれて立ち並び、リニア・カーで30分も郊外へ向えば豊かな自然が満喫できるようになっている……。

そういうわけで、AD2000年の東京は過密・渋滞・高住居費なんて昔語りとなって世界のどの都市よりも美しくゆとりのある町並みを誇り、そこで暮す年収10万\$氏の生活ぶりは世界中からうらやましがられる、ということになる。

そこへ至るまでの1990年代は、この東京大改造の為に建築に次ぐ建築で、シーラントの需要も爆発的空前の品不足と値上りを記録する……という身勝手な付け足しも含めて“21世紀へ向けての初夢”を見ておきます。



ポリマーメーカーは語る

三井東圧化学(株)

ウレタン事業部事業部長
大津山峻茂

● まだまだ先と思っていた21世紀もあと12年で来ることになっています。我々日本人にとって如何なる世紀とすべきや等々は、まだ12年もある訳だし、ゆっくりとプランニングを楽しみたいものです。

それにしても'87年は“地価暴騰”とか“円高”とか“海外進出”等々たいへんな騒ぎでありました。今年もまだまだ苦労は続くようですが、苦労しているだけなのは“フツのヒト”であって“カシコイヒト”は“大成果”ということのようです。これだけの円高は日本民族初体験ですから無理もないこと、と諦めないで今のうちにこの円高と貿易黒字を利用してやっておくべきことがあります。そのひとつは、世界各地の“不毛の地”を買っておくこと。砂漠もよし、沼地もよし、ジャングルもよし、但し現地の都市から比較的近い所がよろしい。この不毛の地を一体何のために買うのか。地下資源を期待して、などという訳ではありません。近い将来に各国各地で人口増加等のため必ずや農地または工業用地の拡大を要するはずで。その時その不毛の地を提供して日本の土木・建設・化学技術で土地を開発し、現地人と日本人の合弁で事業を完成させようとするものであります。

日本人にとって国内では得難い技術開発上、事業開発上のフロンティア・スピリッツを与えることと、これまでの日本人には機会の少なかった国際人としての成長の場を与えることができます。

また“不毛の地”という点も大切であります。ニューヨーク市の一等地を金にものを言わせて買占め

るなどはそこそこでやめた方がよい。それより、西海岸に近い砂漠の方がよろしい。アメリカはフロンティア精神を尊ぶお国柄でもありますので。

さて、夢物語はともかくウレタン樹脂については世界の需要は約380万トンに達していると言われており、ウレタンフォームに限らずエラストマー、塗料、接着剤、シーリング材等の非フォーム分野の伸長も著しいものがあります。ウレタン原料の生産量もお蔭様でそれに対応して大きく伸びております。

最近の応用技術として、専ら硬質フォーム用とみられていたMDI系が軟質フォーム用にも使用できるようになっています。TDI系よりコスト的にやや不利ですが硬化速度や臭気等の点で有利な点ありとして一部実用化が始まっています。断熱防水・床材の分野では無溶剤・速硬化・スプレータイプのエラストマーが実用化され始め(RIMスプレーシステム)、プールや壁面の防水にも応用できるとされています。また、シーリング材として全く新しい硬化機構をもつ一液ウレタン(エナミン硬化システム)が開発されています。炭酸ガスの発生がなく速硬化であること等、特徴ある硬化システムとして建築用一液シーリング材をはじめ接着剤、バインダー、防水材等への応用が期待されています。

世界のウレタン原料の生産ではさすがにウレタンの大先輩であるバイエル社をはじめとする欧米の超大手3~4社が近年さらに力をつけており、極東地域のウレタン工業の伸び率が世界中で最も高い状態にあるため、日本を含む極東は当然世界の注目の的となると思われます。日本の原料メーカーとしても得意な応用技術だけでなく、欧米の巨大メーカーと対等の力をつけるべく製造プロセス技術等の基礎技術についても独自に開発して、需要家の皆様のお力になれるよう努力してまいり所存であります。

最後になりましたが、本年も日本シーリング工業会の皆様の益々の御活躍をお祈りしまして御挨拶と致します。

ポリマーメーカーは語る

鐘淵化学工業(株)

専務取締役
石本 孝郎

昭和62年をふり返りますと、内需拡大の掛け声のもと、公共投資、民間設備投資が活発化し、新規住宅着工件数も180万戸ベースと高水準に推移致しまして、我々建築関係にたずさわる者にとって良き年でありました。今年も、内需拡大志向型の予算が組まれ、引続き好調と言える年になるものと期待しております。

しかしながら、アメリカの財政赤字、株価低落、ドル安インフレがささやかれ、原油価格の不透明さ等の国際的不安定要因があり、国内的にも財政赤字、増税、市場開放要求の中での一層の内需拡大を果さねばならない難かしい年でもあります。

ゴルフで言うならば、依然としてフォローの風とも考えられますが、風向きの変化、フェアウェーの微妙なアンジュレーションもあり、しっかりとスタンスをとり方向正しく打って行く細心さが、求められる年であろうかと考えます。

この様な経済状況の中で、シーリング業界は、昨年久々に10%以上の伸びを達成できたことと推察致します。これは業界の皆々様の御努力により、シーリング各種基材の適材適所使用の思想が普及し、適正な基材がその特性、物性に於いて、適正な施工が行なわれ、建築業界の期待に応えることが出来たものであり、まことに同慶に堪えません。

弊社の独自の技術で開発致しましたカネカMSポリマーも、昨年10周年を迎え、変成シリコンシーラント原料として、シーラント業界の一翼を担うまでに成長致しました。これはひとえに業界の皆々様

の御支援の賜と深く御礼申し上げます。

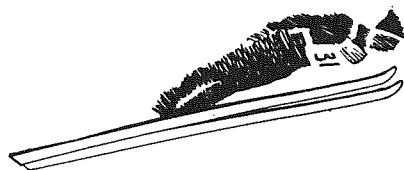
今年、先に述べました如くの不安定要因がありますが、戸建住宅の高級化、耐久化、ビル工法の改良、高効率化、公共施設の拡充及びリフォーム市場の伸びは、確実に期待出来るものと考えます。この様な建築業界の動きに対し、シーラントの樹脂メーカー、製造メーカー、施工業者が一丸となって、それぞれ正しいアドレスをして建築業界の設計思想を良く理解し、使用部位に応じた要求物性に於いて行く事がますます必要であると考えます。

今年更に樹脂メーカーとして注力して行きたいと考えますことは(1)耐久性、耐候性等の品質の一層の向上(2)新しく採用される建築用資材への対応(3)工法の改良、高効率化に伴う防水、接着性能等の向上(4)シーラント施工作业性の向上等について、シーラント製造メーカー、施工業界と十分な討議をさせて頂きつつ、ポリマー改良の努力をつみ重ねて行きたいと存じます。

又、一方では、現在までの業界の御努力の結集である基材の適材適所使用の思想を、建築業界の物性要求の動向を充分折り込みつつ、更に充実させ普及を図って行くことが、業界の発展につながるものと存じます。

今年、難ホールかも知れませんが、クラブの番手を選びまちがうことなく、着実に安全な方向を狙って行きたいと考えます。

基材樹脂メーカーとして、先に述べました如くの品質向上の努力を続けて行く所存でございます。シーラントにかかわる皆々様の御支援、御鞭撻を賜り、シーリングとしての信頼を建築業界にて更に深めて頂ける様に努力し御期待に沿いたいと思っております。



秋麗三下り半を寺宝とす

東慶寺



名水に錢を洗ひて秋惜む 錢洗弁天



佐殿の朽らし鳥居に木の實落つ

佐助稻荷

一灯をともす土牢秋の闇

鎌倉宮

鎌倉は、源頼朝が鎌倉幕府を開き、武家政権の発端となったところで、いまでも鎌倉と室町初期に建てられた重要文化財や史跡が残されている。

古戦場その名を駅に草紅葉

東慶寺は、もと尼寺で、開山は北条貞時の母、覚山尼といわれ、縁切寺、駆込寺として知られている。鎌倉時代は、女は結婚するといかなる理由があろうとも自ら離縁を求めることはできなかった。この寺に駆込むと寺法により保護され、一定期間後に離縁がかなえられたという。寺には当時の離縁状などが多数保存されている。

鎌倉宮は、明治天皇によって建立されたもので、御祭神は護良親王である。親王は、御醍醐天皇をたすけて鎌倉幕府を打倒したが、足利尊氏の謀反にあり、捕えられ、東光寺の土牢に幽閉された。その後尊氏の弟直義によって暗殺されている。幽閉されて

いた土牢は、4坪余りのもので、裸電球が寂しく灯されている。

錢洗弁天は、昔このあたりを隠れ里といい、境内には鎌倉五水の一つの湧水がある。この水でお金を洗うと福銭となり、商売繁盛の靈験があるという。巳の日の縁日には遠くから福を求めて参詣の人が少なくない。御利益があると、鳥居を奉納する習わしがあり、洞窟の入口にはびっしりと建てられている。

佐助稻荷は、俗に「たすけ稻荷」といわれている。隠れ里の稻荷という白髪の老人が、病中の頼朝の夢中に立って煎薬を与えた。やがて天下を治めた頼朝は、この稻荷を祀ったという。佐殿（頼朝）を助けたことから佐助稻荷の名があるという。

古都鎌倉は歴史を秘めていまでも息づいている。

(千葉大学工学部建築学科助教授)

会員会社紹介(4)

総務委員会

大 目 化 成 株

弊社は、昭和48年、シーリングメーカー共立化学㈱（本社名古屋）と、工事店㈱美作（本社守口市）の協力により、創業、同年、油性コーキング材及びポリサルファイド系シーリング材の生産を開始しました。

翌49年にアクリル系シーリング材を上市し50年にはポリウレタン系シーリング材の製造を開始し、シーリング材製造会社としての基礎を築きました。

昭和55年にはシーリング材の増産を計るために、岡山工場を新設すると共に、マーケット・ニーズの具現化商品として、メンテナンスに最も適したポリマーセメントモルタル系防水材「ビッグサン複合防水材」を完成させ販売を開始しました。ビッグサン複合防水材は、従来の防水材にない機能（蒸

気透過性にすぐれている。難燃性にすぐれている。）を有しており、ふくれない もえない防水材として、ユーザーの皆様にご愛顧願っております。

又、昭和57年にシーリング材のJIS表示許可工場の認可を受けると共に、水膨張性シール材を開発しました。「サンシーラーU-82」及び「ウォータースエバー」の商標で、販売しており、吸水し4倍の体積膨張を起す事によりその膨張圧で止水するという画期的な機能を有し、シールド工事、ヒューム管ジョイント打継部止水用シール材として、幅広く御使用いただいております。

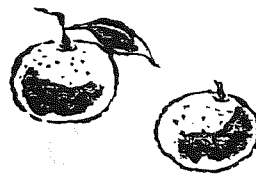
昭和61年、橋梁の支承メーカー川口金属工業㈱（本社川口市）と共同で橋梁用エキスパンションジョイントを開発し「KM トップシールE」という商品名で、名古屋環状2号線を始め、高速道路、橋

梁用フィンガージョイントシール材として数々の実績をいただき、橋梁用途の開発に成功しました。

又、同年韓国の「SAMHO, SPECIAL, BLDG. MATERIAL, CO, LTD」に「ビッグサン複合防水材」の製造ライセンスを供与し、62年、ソウルオリンピック競技用プールに採用という荣誉に浴する事ができました。技術指導は細心の注意を払い、完工してまいりました。

数々の実績を積み重ねる事により、より高度なものへ、より複雑なものへというチャレンジ精神が我社のモットーであり、多様な情報の中から、マーケットニーズに最も適した製品の開発に取り組み、ユーザーの皆様喜んでもらえる商品を世に送りだすべく、研究開発に努力しております。

尚一層のお引き立てとご指導、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。



日東ポリマー工業(株)

創業

今から25年前、現社長「梅本」が某炭カルメーカーに勤務していた頃、米国からポリブテン樹脂が輸入され始め、この用途に油性コーキング材があることを知って炭カルの売込みを始めました。ところが「ミイラ取りがミイラ」になってしまって当社が生れたのであります。

P. R

100万円の資本金、スポンサーもなく、メーカーか工事屋か区別のないスタートでしたが、昭43年、ロームアンドハースの文献でヒントを得て「アクリルエマルジョン系シーリング材」の開発に成功。まだ大して普及していない頃

でしたが ALC のシーリング材に活路を見出し、やがて大量需要の現在まで標準仕様材料として供給量を増やして来ました。昭和56年1月、本邦第一番目のアクリル系シーリング材 JIS (A 5758-7020) 表示許可を取得したのは記録といえます。昭和59年の特許出願を経て、ウレタンとアクリルをアロイ化した高濃度ラテックスの製造に成功し、これをベースに「変成ウレタンラテックス系シーリング材」を60年春に発売、汎用ルートを中心にして2年半の間に250万本の販売を達成、更に改良に改良を加えて商品群の拡大に意欲をもやしています。

将来の抱負

私共の商品でも社会に貢献しているという自覚と、今後お客様の好みと用途を細分化したグレードを用意して、他社にないサービスを確立させたいと思っています。

社長の経歴

近畿大学商経卒 昭和3年生れ(63年3月には還暦ですね)、ゴルフは25年歴ですがスコアは寄る

年波と同じです。

本社工場の立地

大阪湾臨海工業地帯の中でも有名な尼崎の武庫川べりに立地しています。

北は長尾連山、西は六甲山地、東は大阪市、南は大阪湾、地価は坪70万円、こんなところで仕事を続けて「儲かりますか」と人によく質問されます。事実こんな低次元な競争をしているようでは儲かりません。

日本フランシール(株)

フランスの総合企業ローヌ・プーラン社の100%子会社であるローヌ・プーラン・スペシャリテ・シミーク社(R.P.S.C.)は高機能素材として今後の成長が期待されているシリコーン製品の日本におけ



る需要開拓に関し鋭意検討の結果、昭和58年1月に日本フランシール(株)を資本金4.8億円で設立いたしました。

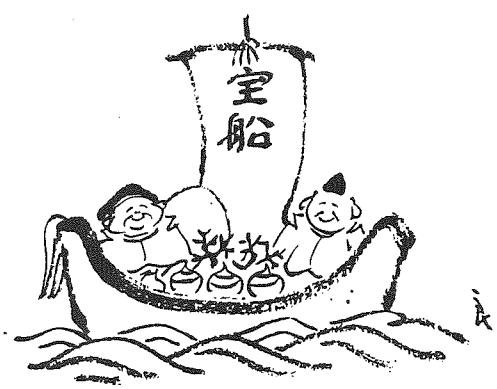
当社はRPSCより日本における同社シリコン製品の独占販売権及びシリコン・シーリング材と加熱加硫シリコンゴムの配合技術の日本における実施権の供与を受け、第1期計画として、大日本インキ化学工業(株)廠工場内にプラントを設置、昭和58年6月より生産を開始いたしました。生産品目は常温加硫型ゴム(EVF)および加熱加硫型ゴム(EVC)の2種類で、生産にあたってはローヌ・プーランより原料ゴムの供給を受け、これを用途別グレードに変性加工し、昭和63年には両製品で約

3,000トンの製造、販売を旨としております。

室温加硫型ゴムは建築用・自動車用・一般工業用シリコン・シーリング材として、また加熱加硫型ゴムは電子機器、自動車部品、電線被覆材、複写機ロール、建築

用ガスケット、医療関連製品などで高い評価を得ております。

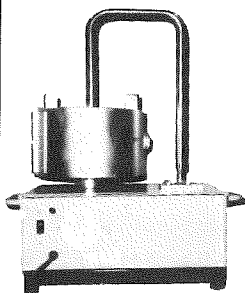
当社本社事務所は赤坂のアメリカ大使館の正門の斜め前に位置していますが、昨今の円高ドル安の影響か、ビザ申請のための長い行列が毎日見受けられます。



2成分形シーリング材用混練器

自動反転式

A型ミキスタ



〈特 徴〉

羽根の型が改良され、山型となり混合時に材料より10mm下になるため、不完全混合がほとんどなく、混合時の空気の混入が減少した。また自動反転装置付で操作が簡略化し、メーカーの丸缶がそのまま使える/バンド式である。(標準型175φ:30缶、他はアタッチメントによりどの缶も使用可能です。)

A型ミキスタ自動反転式
¥115,000

250型

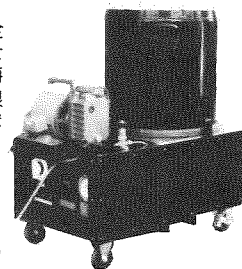
真空脱泡ミキスタ

〈特 徴〉

シーリング材の混合時の空気抜が完全に出来、専用のフタ式タンクをかぶせるだけで、真空状態に出来る。30秒毎の反転装置が付いている為、混合不良がない。またメーカーの丸缶がそのまま使える/バンド式である。

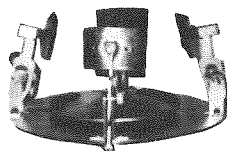
250型
真空脱泡ミキスタ

¥370,000



自由自在に
フィットする

フリーフープ



これ一つで直径174φ~232φの缶に対応出来るため、経済的かつ能率的である。オプションパーツなので、当社のA型・B型・250型のミキスタに取付け可能。

フープ単体……………¥38,000

シーリング業界の発展とともに歩む

ミキスタ工業株式会社

本社 東京都中央区日本橋蛸殻町1-33-7
TEL.(03)669-9471(代) FAX.(03)667-9337

日本科学技術情報センター検索サービス情報

日本シーリング工業会として、リクエストSDIサービスを受けています。
フルコピーは同センター各支所、支部へお申し込み下さい(有料)。

[0001] <6519663>

JICST COPYRIGHT

低モジュラス舗装目地材の挙動

The behaviour of low modulus elastomeric pavement joint sealants.

H628A Constr Ind Int Vol.12, No.10 PAGE.27-29 '86

<J> <B2> <EN> <GBR> <写図4表1>

道路や空港にどのような目地材を選ぶかは、国際的に問題がある。目地の具備すべき条件を考察し、最近改良され次第に多く使われるようになっていく目地材は、低温で低いモジュラスをもち、風化作用を受けても硬化しにくく、高い反発弾性を示す。供用成績の優劣を実験室で予測するに当り、現在のBSは加熱・常温施工用共に不十分で改変する必要がある。ASTMは代替的に利用でき、英国でも関心をもたれている。新旧代表的目地材を試験し、批判した

RC04010K, YK02000Q <625.8, 668.3 : 620.1>

舗装道路；滑走路；目地；充てん材料；シーラント；耐久性；BS規格；ポリ塩化ビニル；応力ひずみ特性；ASTM規格；耐候性；技術展望

〔舗装目地材〕

[0002] <6506276>

JICST COPYRIGHT

目地シーラントの化学

The chemistry of joint sealants.

KNOP B <Henkel KGaA, FRG>

C418A <0023-5563> Kunstst Ger Plast Vol.76, No.9 PAGE.

<DE>783-785, <EN>24-25, 784 '86

<J> <B2> <DE EN> <DEU> <写図2表2>

ポリシロキサン、ポリウレタン、ポリスルフィド、ポリアクリレート、ポリイソブチレンなどを基材とした標記シーラントが多様な建築用途に用いられている。ポリシロキサン、ポリウレタン、ポリスルフィドベースのシーラントの硬化時におこる化学反応について説明

YH06040B <678.06 : 624/625>

シーラント；ポリシロキサン；ポリウレタン；ポリスルフィド重合体；ポリアクリル酸エステル；ポリイソブチレン；建築材料；橋かけ；目地

[0002] A87030631

JICST COPYRIGHT

目地修理

Fugensanierung.

FRIEDMANN M

C368A <0011-4782> Dtsch Bauz No.9 PAGE.1155-1156, 1161-1162 '86

<J> <B2> <DE> <DEU> <写図12表1参1>

目地のシール材の損傷とその原因について、体系的に示し、修理する方法を探索。そのために、典型的な損傷（接着亀裂、凝集亀裂、シール材のぜい性と変質、金属壁のシール）、損傷したシールの修理（シール材の注入と塗りこみ、テープングによる修理、等）について考察

RB01032Q <699.82>

目地；シーラント；修理；亀裂；損傷；シーリング工事；防

水工事；充てん；注入

[0003] A87071211

JICST COPYRIGHT

ジョイントシーラントの室内実験および現場試験での長期供用性能の予測

Laboratory and field tests can predict long-term field performance of joint sealants.

SPELLS S, KLOSOWSKI J M <Dow Corning Corp., USA> K870039 3rd Int Conf Concr Pavement Des Rehabil 1984 PAGE.587-593 '85

<C> <A1> <EN> <USA> <写図4表3参5>

ゴム工業で使用する室内試験を、高速道路のジョイントシーラントの供用性能の予測で使用した。高温又は低温環境や、風化促進後に試験をしたところ、シーラントは舗装部の膨張や収縮で生ずるジョイント移動に対応する能力が減じていることを示した。コンクリート舗装のスラブに乗る重量車両で生じた垂直方向のたわみに耐えることでシーラントの能力は決まる。古くない材料での室温における引張り・圧縮試験で合格するにもかかわらずシーラントは現場での成功例が限定されてしまう理由を実験結果で検証した

[0001] A87090641

JICST COPYRIGHT

ムーブメントを生じているジョイントでのシーリング材の挙動II ジョイントムーブメントにより生ずるシーリング材の応力およびその粘弾性的検討

小池みち夫、田中享二、橋田浩<東京工大 工材研>；冨板崇<建築研>

F393B <0910-8025> 日本建築学会構造系論文報告集 No.373 PAGE.34-42 '87

<J> <A1> <JA> <JPN> <写図12表1参18>

標記シーリング材の力学的挙動を把握するため、動的状態下での粘弾性挙動を調べた。まず、サインカーブに従って拡大・縮小を繰り返すジョイントムーブメントを作用させる実験を行った。この場合、応力とひずみに位相差が生じ、サインカーブの周期が長くなる程応力が低下した。この状態は指数関数則に基づく簡単なモデルによる粘弾性を考慮した計算でモデル化できた。ポリサルファイド系シーリング材は高温になると発生応力が低下した。さらに、ムーブメントに同期し温度を連続的に変化させた実験、現実のシールドジョイントを模した屋外暴露試験体における測定を行い、計算による挙動推定を行ったところよく一致した

RB01032Q <699.82>

目地；シーラント；応力；粘弾性；ひずみ

S R シール

- S70 1液変成シリコン系シーリング材
- S50 2液変成シリコン系シーリング材
- U73 1液ポリウレタン系シーリング材
- U31 2液ポリウレタン系シーリング材

PHOTOボンド

#100 #500 感光性接着剤

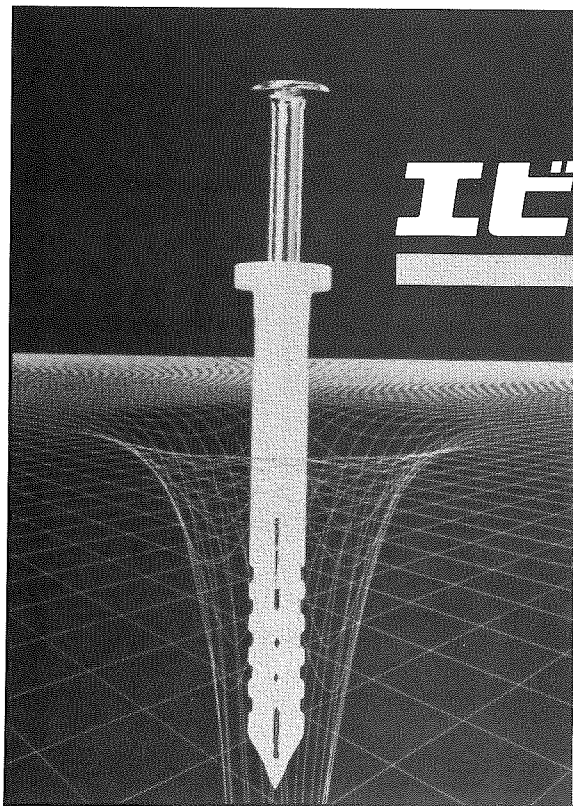
エッジシール

網入り板ガラス防錆ブチルテープ
(ガラスメーカー3社 全硝連推奨品)

JIS表示工場 第581036号 (JIS・A・5758)

SR^{RISE} サンライズメイセイ株式会社

- | | | | |
|-------------|----------------------------------|--------|--------------|
| 本 社 工 場 | 〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号 | TELE X | 5374-743 |
| 電 話 | (0722) 44-7500(代) | F A X | 0722-44-8183 |
| 静 岡 工 場 | 〒437-14 静岡県小笠郡大東町国安字一本松24-16 | | |
| 電 話 | (05377) 2-5700(代) | F A X | 05377-2-4772 |
| 関 東 営 業 所 | 〒221 横浜市神奈川区三枚町299番地5 | | |
| 電 話 | (045) 383-4651(代) | F A X | 045-383-4869 |
| 熊 谷 営 業 所 | 〒360 埼玉県熊谷市宮町2丁目132番地(林ビル) | | |
| 電 話 | (0485) 25-1822(代) | F A X | 0485-25-2491 |
| 名 古 屋 営 業 所 | 〒465 名古屋市長東区一社3丁目90番地(チサンビル202号) | | |
| 電 話 | (052) 703-2061(代) | F A X | 052-704-1978 |
| 関 西 営 業 所 | 〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号 | | |
| 電 話 | (0722) 44-7500(代) | F A X | 0722-44-8183 |
| 広 島 営 業 所 | 〒733 広島市西区三篠町3丁目20番19号 | | |
| 電 話 | (082) 230-0019 | F A X | 082-230-1944 |
| 九 州 営 業 所 | 〒811-32 福岡県宗像郡福岡町字長引3464番地(桜井ビル) | | |
| 電 話 | (0940) 43-2254(代) | F A X | 0940-43-2866 |



防水シート・水切材
施工に最適!!



エビネイル7.7

NP5-35/6

〔スチール釘〕
SNP5-35/6

〔ステンレス釘〕

打ち込んで

スチール釘	ステンレス釘
NP4-25/5	SNP4-25/5
NP5-50/20	SNP5-50/20
NP6-35/6	SNP6-35/6
NP6-50/20	SNP6-50/20

ガッチリ固定。

ウエーブ溝で首下スリムな特殊ナイロン
スリーブは打ち込みやすく保持力強固。

防水シート・水切材施工に、階段のステップライン施工に
その他、各種サドル取付け等建築工事・電気工事に。

日本理器株式会社

大阪営業本部 〒578 大阪市中新聞116-1 ☎(0729)62-1601(代)
東京営業本部 〒175 東京都板橋区高島平2-6-4 ☎(03)550-3671(代)

営業所	名古屋 ☎(052)915-0431(代)	高松 ☎(0878)61-6110
	札幌 ☎(011)251-5721	広島 ☎(082)292-4422(代)
	仙台 ☎(022)284-5602	福岡 ☎(092)431-0395(代)

機関誌「シーリング」発行日の変更について

広報委員会

1. 「シーリング」発行の経緯

皆様方ご存知のように、「シーリング」は20年前の当工業会創立5周年にあたる昭和42年1月10日に創刊いたしました。覚えておられるでしょうか、コーキングガンと渦巻き状のシーリング材を画いた表紙でした。発行当初は不定期刊であり、年に1回から3回位発行しておりました。創刊号から10年間に14冊発行し、まるで計算したように、当工業会の創立15周年にあたる昭和52年に、丁度15号を発行することになり、創立15周年記念号といたしました。

一方、創立15周年を記念して、「シーリングニュース」を発行することになり、昭和52年8月11日に創刊号（夏号）を発行いたしました。表紙は、山本千青（本名：山本照夫——テイパ化工(株)会長）氏の素晴らしい花の絵でした。以降、春・夏・秋に各1冊ずつ発行し、これに冬発行の「シーリング」を加えて、機関誌の季刊スケジュールが整ったのです。

その当時、当工業会の年間最大のイベントは、毎年1月下旬に西熱海ホテルで行われる新年総会でした。そして、発行日を特に定めずに発行していた「シーリング」を、この新年総会に合わせて発行し、お集りいただいた来賓・会員・賛助会員の皆様方に、インキの匂いも新しいホットな機関誌を読んでいたこといたしました。これが、昭和54年1月20日に発行した「シーリング」16号です。16号から24号まで、9年間に9冊を毎年1月下旬に発行してまいりました。

2. 「シーリング」発行日の変更

昭和62年10月の当工業会理事会で、「シーリング」に掲載しているシーリング材年別販売推定量が、「シーリング」の1月下旬発行に合わせるため、前年の

11月末に統計をとっており、11月と12月が全くの推定となり、精度が悪いのではないかと、1月か2月に統計をとって精度を向上させたらどうか』という指摘を受けました。

そこで、検討した結果、「シーリング」を春に発行すれば、次の点が改善されることとなります。

- (1)翌年の1月～2月に統計をとることにより、シーリング材年別販売推定量の精度を向上させることができる。
- (2)毎年2月に行われているシーリング管理士およびシーリング技術管理士養成講習会の合格者名を資料の名簿に記載することにより、ほぼ一年間活用することができる。
- (3)昭和62年以降、新年総会を賀詞交換会としたので、当工業会の年間最大のイベントが毎年5月に行われる総会になったが、これに合わせる事ができる。

しかし、若干の問題が残ります。というのは、従来ですと、唯一のシーリング材年別販売推定量の前年統計資料を、次（新）年度の戦略等に資することができたのですが、昭和63年からは役立てることができなくなります。

いろいろ検討いたしました。が、若干の不便は忍んでいただき、昭和63年から機関誌の発行スケジュールを次のように変更することにいたしました。

- | | | |
|------|-------------|-----|
| 1月 | 「シーリングニュース」 | 新春号 |
| 4～5月 | 「シーリング」 | |
| 7月 | 「シーリングニュース」 | 夏号 |
| 10月 | 「シーリングニュース」 | 秋号 |

趣旨をご理解の上、今後ともよろしくご愛読いただきますようお願い申し上げます。

● 本部事務局だより

紅葉の便り、雪の便り、或いは歳末大売出し、クリスマス、忘年会とめまぐるしく一年が過ぎてゆきます。

62年の工業会の大事件としては、11月12日に当事務局はじめ多くの会員会社が公正取引委員会の立入調査を受けたこととございます。私どもは全く預り知らぬことでしたが、会議議事録多数と、小職の手帖まで持ってゆかれ、本文を書くにも、一年の歩みを書くにも資料がなくなり大弱りの態とございます。くれぐれも疑惑をまねくことのないように慎みたいと存じます。

さて昨今の本部の活動状況を紹介しましょう。

総務委員会では、12月に恒例の当会顧問並びに相談役を囲む懇談会を開催し、会の活動状況をご報告し、貴重なご意見を頂きました。今後、このご意見にお応えする施策を推進されることと思えます。

技術委員会では、外壁塗材メーカー団体との共同研究に於ける暴露試験2ケ年を終了し、その結果をまとめ報告いたしました。また開口部防火プロジェクトも研究成果を発表出来る段階となりました。

広報委員会では毎年1月に発行しておりました「シーリング」誌は、次回より5月の総会にあわせて発行することといたしましたので、今回の「シーリングニュース」と入れ替わりました。

調査委員会での出荷統計は毎年11・12月を推定して発表しておりますが、「シーリング」誌の発行に合せ、確定数量を集計発表することになります。

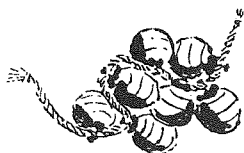
検定委員会で開催いたします「シーリング管理士・技術管理士」の研修会に、今回は管理士69名、技術管理士84名が参加されます。多数の新管理士の誕生を期待しております。

終りにあたり、今年も業界が活況であらんことを期待し、各位のご活躍を祈ります。

● 北海道支部の動き

今冬は12月初め、北海道でもめづらしい66年ぶりの大雪に見舞われましたが、シーリング工事は追込みの最後の時期に入っています。工事量は前年実績を上回ったこともあり、越年しての繰越工事も見受けられます。しかし、材料工事価格は相変らず満足の得られるものが少ない様です。

長年北海道のシーリング業界や支部発展のため御尽力頂きました東芝シリコーン・神崎所長が12月25日付で北海道支部長を辞退され、また、支部会も退会される事になりました。長年の支部会、業界への御尽力を深く感謝いたします。



● 仙台支部の動き

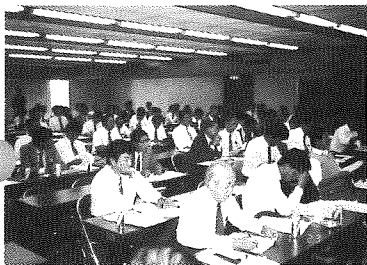
東北各地での初雪の便りから早や2～3カ月、大きな災害もなく、いよいよ厳しい冬を迎えている今日この頃です。支部活動は10月に支部懇親会を行ない、11月には昭石化工会議室において幹事会打合せを行ないました。年度内の行事予定も残り僅かになりましたが、活発な活動と言えないまま10ヶ月が過ぎてしまいました。本年は東北シーリング工事業協会で研修勉強会の計画もあり、仙台支部としても全面的に協力してゆく考えております。

● 東京支部の動き

新聞誌面を毎日賑わしている土地高騰問題、地上屋問題等々話題にことかかない昨今の首都圏。さて我々業界の動きとなると、市場価格の低迷又期待される程フォローの風も吹かず、その上公正取引委員会の査察とダブルパンチにまわれ、悪戦苦闘の毎日です。支部活動状況であります。市場懇談会等にて各社プライマー容器・容量の統一化について検討致しておりますが、今回7日会の協力にて施工店の要望調査を実施することになりました。この様な問題については当支部だけでなく本部、各支部の協力を得て、市場の要望に少しでも答えるべく努力致しております。本部及び各支部の皆様にも重ねてご協力をお願い致します。

● 名古屋支部の動き

シーリング防水の技術向上を目的とした技術講習会が10月23日、名古屋市栄の「昭和ビル」大ホールで午後1:30より行われた。はじめに東海建築材料協会の町田理事長、中部シーリング工事業連合会の岡会長の挨拶が行われた後、日シ工平野技術委員長が「総プロ、シーリング防水」について解説。続いて名古屋工業大学・大岸教授（工学博士）より「最近の建築材料の動向とその諸問題」と題する約3時間に渡る説明会が行われた。当日は、官庁、設計、ゼネコン、シーリング工事業連合会、工業会員他約130余名が出席し、両講師の説明を熱心に聴講し、盛況に終了した。



研修会会場風景

● 大阪支部の動き

御堂筋のイチョウ並木が黄金色から落葉へ、革新大連合（五党推薦）と無党派で「お願いします」「お願いします」〇〇です、よろしく、よろしく」との大声で湧いた大阪市長選も過ぎ、内需振興の

余波か、いつになくせわしげな冬を迎えています。

今回の大阪支部のトピックスは大日化成株式会社が10月から当支部に新しく入会されたことです。ちょうど本号には大日化成株式会社・小林社長がしたためられた会社紹介が掲載されていますのでご覧下さい。

（総務担当・渡辺数馬）

● 広島支部の動き

紅葉の美しい季節になりました。有名な三段峡、帝釈峡の峡谷に映えて、訪れる人々を感嘆させています。厳島のみみじまんじゅうも、一際おいしい季節です。

首都圏にやや遅れましたが、広島も今、建築ブームです。大規模インテリジェントビルや、人目を引く斬新なデザインの建物が話題になっています。毎年秋恒例の、中国シ協と協賛の「シーリング技術研修会」(中国地区各官庁、建築会社、設計会社への新技術 PR 会)を山口県で実施したのに引き続き、広島市・岡山市での開催が計画されています。(62/11月記)

● 福岡支部の動き

月日のたつのは早いもので、今年も博多の町に、連日、大相撲九州場所のタイコの音が響き、一段と気ぜわしさが増しております。

過日、九建日報に、西日本建設業保証福岡支店の、62年7月～62年9月期における九州地区の建設業景況調査結果が発表されました



が、内容は、「受注・収益状況は共に、水面下ながらも回復。明るさが増してきた。しかし、資材では、鋼材が45.8%、合板が22.9%、労務では、型枠工が11.5%と、価格、賃金で上昇傾向を強めており、来期も、今期同様、資材、労務の厳しさが続く見通し」とのことです。

福岡支部では、10月23日、糸島郡前原町の“芥屋ビーチホテル”において、臨時幹事会を開催し、①第2/4半期支部業務報告及び会計報告

②シーリング管理士・技術管理士の受講、受験

③情報交換——を行ないました。

終了後、九シ協組合及び販売店部会と合同にて、吉武前支部長の功労及び第2の人生の門出を祝い、記念品を送るとともに送別会を行ないました。

翌14日は、同メンバーにより、伊都ゴルフクラブにおいて、吉武前支部長の送別ゴルフを開催、一同和気あいあいの内に終了しました。

尚、次回の幹事会は、12月4日、郵便貯金会館において開催の予定です。(62/11月記)

時代のニーズに応じて……

建築用弾性シーリング材

Hi-Bon

変成シリコン系
(9030)

ポリサルファイド系
(9030)

ポリウレタン系
(8020)

Hi-Bon 2000

Hi-Bon 1000

Hi-Bon 5000

㊟表示許可工場

 **日立化成ポリマー株式会社**

東京都千代田区内神田 1-13-7 (四国ビル) 〒101

TEL.03-294-4501(代) FAX.(GIII)293-0898

日本シーリング工事業団体連合会

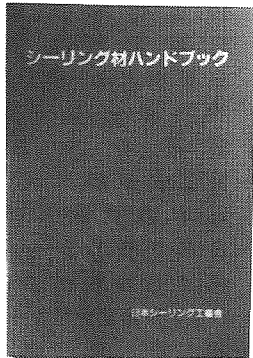
本部 〒105 東京都港区浜松町 1-11-11 アルファ産業(株)内
電話 03(432)5735(代)

“責任施工と保証の確立”

シーリング防水施工の発注は優秀な技術管理(シーリング管理士)と国家認定技能(防水技能士)を持つ、下記所属団体会員へ。

北海道地区 北海道シーリング工事業協会	近畿地区 関西シーリング工事業協同組合
住所 〒064 札幌市中央区北2条東2-1 浜野ビル 電話 011(251)3364	住所 〒550 大阪市西区新町1-8-1 諏訪ビル 電話 06(531)8107
東北地区 東北シーリング工事業協会	中国地区 中国シーリング工事業協会
住所 〒983 仙台市扇町1-3-6 (株)丸本工業所内 電話 022(284)6662	住所 〒733 広島市西区中広町3-17-16 (株)サンゼオン内 電話 082(291)1631
関東地区 東日本シーリング工事業協同組合	四国地区 四国シーリング工事業協同組合
住所 〒135 東京都江東区深川2-15-23 小泉ビル 電話 03(641)9561	住所 〒790 松山市二番町4-1-5 愛媛県建築士会館5F 電話 0899(47)2300
中部地区 中部シーリング工事業協同組合	九州地区 九州シーリング工事業協同組合
住所 〒460 名古屋市中区丸の内1-2-28 吉村ビル4F 電話 052(201)7086	住所 〒810 福岡市中央区桜坂2-1-3 荒川ビル21号 電話 092(781)5660・5676

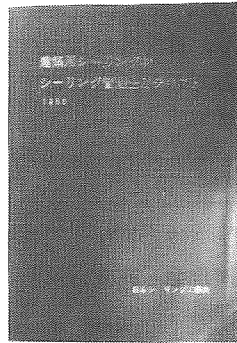
新装・シーリング材 ハンドブック



従来のシーリングハンドブックを全面的に内容改訂、最新情報を随所に盛り込んだシーリング材の案内書が完成しました。シーリング材とその選び方に重点を置き、誌面もA5判に拡大、解り易く見易い構成になっています。お申込みはお早目に！

頒布価格 900円

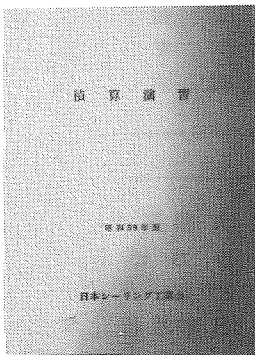
新・建築用シーリング材 シーリング管理士用テキスト 1986



内容も大幅に改訂。教科書サイズとなり携帯にも便利。シーリング材の適材適所の使用、適切な目地設計、正確な施工など種々の知識と技術の向上を旨とした「シーリング管理士」養成講習会の教材であり、シーリング関係者にとって貴重な参考書です。

頒布価格 4,000円

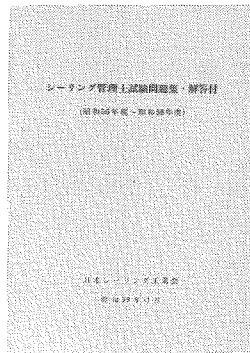
積算演習



図面から正確な目地寸法、延べ長さを拾い出し、材料費、工賃を加えた材工共の単価の算出は施工会社、シーリングメーカーおよび関係者各位にとって重要な業務です。この道のベテランが図面により一からわかり易く順序だてて解説しています。

頒布価格 1,000円

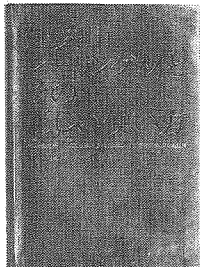
シーリング管理士試験 問題集・解答付(56~60年度)



問題集として最近5年間(56~60年度)のシーリング管理士試験問題を年度別に集約した本書は管理士・技術管理士を志す人のみならずシーリング業務に携わる方々にとって参考となるものです。

頒布価格 1,500円

建築用シーリング材と その正しい使い方

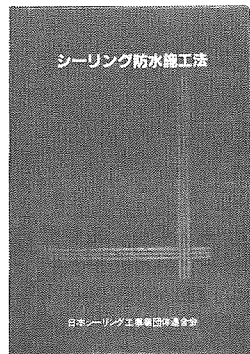


わが国建築用シーリング材の最高権威である・故狩野春一工学博士の監修による、シーリ

ング関係者必読の座右の書。執筆者は故・波多野一郎千葉大学教授小池迪夫東京工業大学教授、加藤正守千葉大学助教授をはじめ、わが国シーリング材研究の第一人者および業界関係者多数。設計から材料、施工まで幅広い内容となっています。

頒布価格 4,800円
(会員頒布価格 4,300円)

シーリング防水施工法



シーリング工事の基本から実践・応用までを最新技術資料を盛り込み解り易く解説した実務参考書。内容は▷建築物の基礎知識▷シーリング防水の基礎知識▷良いシーリング防水工事のためのディテールシート▷故障と補修の構成。

日本シーリング工事
団体連合会発行
頒布価格 1,500円

(送料は別途申し受けます)

日本シーリング工業会の概要

性格と組織

本会はわが国における建築用、土木用シーリング防水の健全な発展と振興を計ることを目的として、昭和38年2月に設立されました。会員はわが国のシーリング材メーカーが加盟し、賛助会員は原材料メーカー及び取扱業者が加入しており、全国に7支部を有する全国的組織であります。

事業

- シーリング管理士、シーリング技術管理士の養成
- 日本シーリング工事業団体連合会と連繋、材料および工事に対する信頼の確保
- 技術資料の収集と情報の交換
- JIS, JASS への協力
- 市場調査、需要開発に関する調査研究
- 機関誌「シーリング」(年1回発行)
- シーリングニュース(年3回発行)

日本シーリング工業会の組織

〈委員会〉

総務委員会
技術委員会
広報委員会
調査委員会
シーリング管理士
検定委員会

〈分科会〉

シリコーン分科会
変成シリコーン分科会
ポリサルファイド分科会
ポリウレタン分科会
アクリル・SBR分科会
ブチルゴム・油性分科会

〈支部〉

北海道支部 仙台支部 東京支部 名古屋支部
大阪支部 広島支部 福岡支部

日本シーリング工業会会員

アサヒボンド工業(株)	東芝シリコーン(株)
(株)エービーシー商会	トーレ・シリコーン(株)
オート化学工業(株)	東レチオコール(株)
カネボウ・エヌエスシー(株)	日興化学工業(株)
関西パテ化工(株)	日東電気工業(株)
コニシ(株)	日東ポリマー工業(株)
サンスター技研(株)	(株)日本化学研究所
三洋工業(株)	日本シーカ(株)
サンライズメイセイ(株)	日本タイルメント(株)
シャープ化学工業(株)	日本添加剤工業(株)
昭石化工(株)	日本フランシール(株)
信越化学工業(株)	(株)ノーベル樹脂化学
住友スリーエム(株)	バイエル合成シリコーン
(株)スリーボンド	(株)服部商店
世界長(株)	早川ゴム(株)
セメダイン(株)	日立化成ポリマー(株)
大日化成(株)	保土谷建材工業(株)
武田薬品工業(株)	三井東圧化学(株)
テイパ化工(株)	三星産業(株)
(株)東亜応用化工	ヤマウチ(株)
(株)東郊産業	横浜ゴム(株)

賛助会員

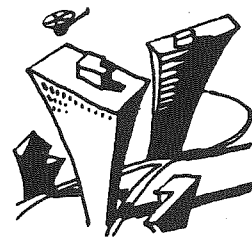
旭化成工業(株)	大和高分子工業(株)
(株)井上製作所大阪支店	タカビシ化学(株)
(株)小野田	(株)日本カーテンウォール工業会
化研マテリアル(株)	日本触媒化学工業(株)
鐘淵化学工業(株)	日本バックアップ工業(株)
(株)菅野製作所	日本ポリウレタン工業(株)
光栄商事(株)	野口興産(株)
(株)芝浦製作所機工事業部	(株)野村事務所
白石工業(株)	フヨ一(株)
(株)新和商会	ミキスタ工業(株)
大進商工(株)	

シーリングニュース第32号

企画・発行：日本シーリング工業会広報委員会
〒101 東京都千代田区外神田2-2-17
共同ビル ☎03-255-2841~2
FAX 03-255-2183

製作協力・広告：新樹社

表紙写真：皇居お堀端より副都心を望む





信越シリコーン

多彩に実績を築いて20余年。

よりキメ細かく、信頼にお応えする建築・土木用シリコーン

●1成分形 一般用 オキシムタイプ
シーラント45
●1成分形 防カビ用 オキシムタイプ
シーラント4588
●1成分形 フラスチック用 アルコールタイプ
シーラント72
●1成分形 構造用 超高モジュラス
シーラント90
●1成分形 一般用 酢酸タイプ
KE42
●1成分形 高透明 酢酸タイプ
KE420
●1成分形 防カビ用 酢酸タイプ
KE422
●2成分形 建築・土木用 アミノキシムタイプ
シーラント70
●2成分形 水平目地用 アミノキシムタイプ
シーラント701
●2成分形 耐火目地用 アミノキシムタイプ
シーラント74
●3成分形 油性補修用 アミノキシムタイプ
シーラント79
●1成分形 コーティング用 水性タイプ
Mコート56
●1成分形 コーティング用 溶液タイプ
Sコート57
●1成分形 ライニング用 オキシムタイプ
KE4573
●2成分形 難燃・充填シール用(フォーム)
KE52A・B
●2成分形 難燃・充填シール用(ゴム)
KE1219A・B



信越化学工業株式会社

03-256-3651

シリコーン事業本部 東京シーラント部
〒101 東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7(フジモビル)

大阪支店 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル) 〒530 (06) 315-3071
 名古屋支店 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館) 〒450 (052) 581-6511
 福岡支店 福岡市中央区天神1-12-20(日之出東京海上ビル) 〒810 (092) 781-2782

札幌営業所(011)221-6471
 仙台営業所(022)264-2777
 新潟営業所(025)247-3321
 北陸営業所(0776)26-1551

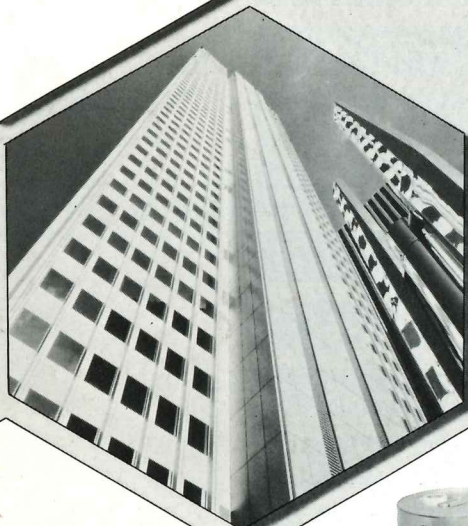
長野営業所(0262)28-9104
 北関東営業所(0273)63-2731
 広島営業所(082)248-3931
 高松営業所(0878)22-3613

ニーズをかたちに

ハマタイト[®]

建築用シーリング材シリーズ

横浜ゴムは、シーリング材のパイオニアとして、昭和38年にわが国で初めてポリサルファイド系シーリング材の生産を開始。以来、建築工法の変革や被着部材の多様化に応じ、使用条件に最適なさまざまなタイプの製品を開発してきました。現在では、ハマタイトは、わが国を代表する超高層ビルから中・低層、一般建築物に至るまで数多くの建築物に採用され、横浜ゴムの「もうひとつの顔」として、ハイテクノロジーの顔となっています。



ラインナップ

- 2成分形シリコーン……………シリコーン70
- 2成分形変成シリコーン……………スーパーII
- 2成分形ポリサルファイド……………SC-500
- 2成分形ポリウレタン……………UH-30
- 1成分形シリコーン……………SS-310
- 1成分形ポリウレタン……………シールエース
- 1成分形変成シリコーン……………スーパーワン

お問い合わせ先

横浜ゴム株式会社

本社・工業品事業本部 東京都港区新橋5-36-11 TEL.03-432-7111

ハマタイト事業部 神奈川県平塚市中原上宿900 TEL.0463-31-3002

工業品東京支店 TEL.03-432-7111

工業品大阪支店 TEL.06-345-1425

工業品名古屋支店 TEL.052-231-4321

工業品広島販売課 TEL.082-227-8100

ヨコハマゴム工業品北海道販売㈱ TEL.011-241-5111

ヨコハマゴム工業品東北販売㈱ TEL.022-284-0437

ヨコハマゴム工業品九州販売㈱ TEL.092-711-8541



YOKOHAMA